

平成20年度

高知県公立小学校及び中学校並びに県立学校

10年経験者研修（教諭）の概要



高知県教育センター

1 平成20年度10年経験者研修（教諭）のイメージ

研修対象者の通知・受講者の決定 2月～4月

- 研修対象者の通知
- 受講者の決定（研修効果、学校運営への影響等を考慮）

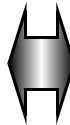


受講者の評価及び研修計画書等の作成 5月・6月

- 評価票（様式第1号）及び教育センター等研修調査票（様式第2号）の作成・提出
- 受講講座の通知
- 研修計画書（様式第3号）の作成・提出・決定



教育センター等研修 （17日、主に夏季休業中）		在籍校等研修 （20日、主に課業期間中）	
共通研修 （4日）	【ガイダンス】 【共通研修】	A	学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修（教科指導等研修と関連）
教科指導等 研修 （6日）	【全体・校種別・教科別での指導】 ○ 一部各教科ごとの研修を実施 ○ 自己課題に応じた研修を実施 ※教科研修レポート及び授業実践研究レポートの提出（P. 23、24参照）	B	教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究
生徒指導等 研修 （4日）	【I・II】 【選択研修】 （5講座の内2講座を選択）	C	教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ（4日程度） ○ 受講者ごとの課題（A、B）に応じた効果的な研修を在籍校等で実施 ○ 在籍校等研修指導計画書（様式第4号）の作成・提出
自己課題解 決研修 （3日）	○ 自己課題（在籍校等研修A、Bの課題）に対応した主に校外での研修（2日）		
		○ 教育委員会ごとに開催する研修成果発表会（1日） ※研修成果レポートの提出（P. 27参照）	



関
連



研修成果の評価（校長・教育委員会）

- 受講者ごとに再度、評価案Aで評価、研修成果報告書（様式第5号）を作成・提出

※ それぞれの様式の提出期限についてはP. 8を参照すること。

目 次

I	平成20年度10年経験者研修（教諭）実施要項	
	平成20年度10年経験者研修（教諭）実施要項 -----	1
	平成20年度10年経験者研修（教諭）研修内容及び研修日数	
	1 教諭 小学校 -----	4
	2 教諭 中学校 -----	5
	3 教諭 高等学校 -----	6
	4 教諭 特別支援学校 -----	7
	平成20年度10年経験者研修（教諭）実施要項第3項及び 第6項並びに第8項における別に定める期日について -----	8
	平成20年度10年経験者研修（教諭）における評価票、 研修計画書及び研修成果報告書作成等実施細則 -----	9
	別表1（教諭 小学校） -----	10
	別表2（教諭 中学校） -----	11
	別表3（教諭 高等学校） -----	12
	別表4（教諭 特別支援学校） -----	13
II	平成20年度10年経験者研修（教諭）の概要	
1	研修要項等	
	(1) 年間研修計画	
	1 小学校 -----	14
	2 中学校 -----	15
	3 高等学校 -----	16
	4 特別支援学校 -----	17
	(2) 共通研修 -----	18
	(3) 教科指導等研修	
	小学校 -----	19
	中学校 -----	20
	高等学校 -----	21
	特別支援学校 -----	22
	研修課題Aに関するフローチャート及び 教科研修レポート作成要領（小・中・高等学校） -----	23
	研修課題Aに関するフローチャート及び 授業実践研究レポート作成要領（特別支援学校） -----	24
	(4) 生徒指導等研修 -----	25
	(5) 自己課題解決研修 -----	26
	10年経験者研修成果発表会 -----	27
	(6) 在籍校等研修 -----	28
2	計画書等の様式	
	平成20年度10年経験者研修（教諭）提出物一覧 -----	29
	評価票 様式第1号（教諭 小学校） -----	30
	様式第1号（教諭 中学校） -----	32
	様式第1号（教諭 高等学校） -----	34
	様式第1号（教諭 特別支援学校） -----	36
	教科指導等研修調査票	
	様式第2号の1（教諭 小学校） -----	38
	様式第2号の1（教諭 中学校・県立学校） -----	38
	様式第2号の2（教諭） -----	39
	研修計画書	
	様式第3号（教諭） -----	40
	在籍校等研修指導計画書	
	様式第4号（教諭） -----	41
	研修成果報告書	
	様式第5号（No. 1～3） -----	42
3	レポート様式例 -----	49
4	会場案内図 -----	51

I 平成20年度10年経験者研修（教諭）実施要項

平成20年度10年経験者研修（教諭）実施要項

1 目的

県教育委員会は、次の者を対象として、教育公務員特例法第24条の規定に基づく研修として、10年経験者研修を実施し、現職研修の一環として資質・指導力の向上を図る。

高知県内の公立の小学校及び中学校（高知市立の小学校、中学校及び県立の中学校を除く。以下「小学校等」という。）並びに県立の中学校、高等学校及び特別支援学校（以下「県立学校」という。）の教諭、助教諭及び講師（以下「教諭等」という。）。ただし、教育公務員特例法施行令第5条に掲げる者を除く。

2 研修対象者等

- (1) 10年経験者研修の対象となる者（以下「研修対象者」という。）は、小学校等及び県立学校の教諭等で、当該研修を実施する年度の前年度中に、教育公務員特例法施行令第3条及び平成14年11月1日付け文部科学省告示第190号により規定する在職期間が満9年となる者とする。
- (2) 県教育委員会は、この研修を効果的に実施するため、必要があるときは、研修対象者の一部を次年度以降に繰り下げて受講させ、又は(1)にかかわらず在職期間が9年に達していない者を繰り上げて受講させる等の措置を採るものとする。
- (3) この研修を受講する者（以下「受講者」という。）については、研修効果及び校務への影響等を考慮し、県教育委員会が年度当初に決定するものとする。

3 評価及び研修計画書の作成と提出

（小学校等）

- (1) 受講者が在籍する小学校等の校長（以下(2)から(5)までにおいて「校長」という。）は、この要項及び「平成20年度10年経験者研修（教諭）における評価票、研修計画書及び研修成果報告書作成等実施細則」（以下「実施細則」という。）に基づき、受講者ごとに評価票（様式第1号）及び教育センター等研修調査票（様式第2号の1及び2。以下「調査票」という。）を作成し、※1別に定める期日までに受講者が在籍する学校を所管する市町村（学校組合を含む。以下同じ。）教育委員会（以下「市町村教育委員会」という。）に提出する。
- (2) 市町村教育委員会は、校長から提出された評価票及び調査票（以下「評価票等」という。）について受講者ごとに必要な調整を行ったうえで決定し、評価票等を※2別に定める期日までに県教育センター所長あて提出する。
- (3) 県教育センター所長は、提出された評価票等に基づいて教育センター等研修における受講講座等の調整を行い、その内容を市町村教育委員会に通知する。
- (4) 校長は、評価票及び教育センター等研修の日程、内容を考慮して、研修計画書（様式第3号）を作成し、※3別に定める期日までに市町村教育委員会に提出する。
- (5) 市町村教育委員会は、受講者ごとに研修計画書に記載された内容について必要な調整を行い、決定する。決定した研修計画書を※4別に定める期日までに県教育センター所長あて提出する。ただし、研修計画書に変更が生じたときには、市町村教育委員会は速やかに県教育センターに連絡する。

（県立学校）

- (6) 受講者が在籍する県立学校の校長（以下(7)から(9)までにおいて「校長」という。）は、この要項及び実施細則に基づき、受講者ごとに評価票等を作成し、※5別に定める期日までに県教育センター所長あて提出する。
- (7) 県教育センター所長は、校長から提出された評価票等に基づいて教育センター等研修における受講講座等について必要な調整を行い、その内容を校長に通知する。
- (8) 校長は、調査票及び教育センター等研修の日程、内容を考慮して、研修計画書（様

式第3号)を受講者ごとに作成し、※6別に定める期日までに県教育センター所長あて提出する。

- (9) 県教育センター所長は、受講者ごとの評価票及び研修計画書を決定し、校長に通知する。ただし、決定した評価票及び研修計画書に変更が生じたときには、校長は速やかに県教育センター所長に連絡する。

4 研修内容及び研修日数

10年経験者研修は、県教育センター等において主に長期休業中に実施する研修(以下「教育センター等研修」という。)及び在籍校等において主に課業期間中に実施する研修(以下「在籍校等研修」という。)で構成し、研修内容及び研修日数は、別に定めるものとする。

5 教育センター等研修

(1) 実施計画の作成と実施

県教育センター所長及び県心の教育センター所長並びに教育事務所長は、この要項に基づき実施計画を作成し、効果的に研修を実施するものとする。

(2) 実施計画作成に当たっての視点

ア 評価項目に応じた効果的な実施内容、実施形態とする。

イ 教育事務所においては、地域の実情にも配慮する。

ウ その他の研修との有機的関連を図る。

(3) 実施上の留意点

ア 受講者が研修の目的を十分に理解し、研修参加の意欲を高めるよう配慮する。

イ 評価で示されたそれぞれの課題を把握し、実践的指導力の向上に繋がるよう実施する。

(4) 受講講座の決定

県教育センター所長は、計画書等に基づき、受講させる講座を決定し、市町村教育委員会及び県立学校の校長に通知する。

6 在籍校等研修

(1) 指導計画書の作成と実施

校長は、市町村教育委員会又は県教育委員会の決定した評価票及び研修計画書に基づき、受講者ごとの課題に応じた指導計画を定め、実施するものとする。

(2) 指導計画書作成上の留意点

ア 評価票で示されたそれぞれの課題に応じた効果的な研修とする。

イ 教育センター等研修との有機的関連を図る。

ウ 校内研修との有機的関連を図る。

(3) 指導計画書の提出

(小学校等)

ア 校長は、在籍校等研修指導計画書(様式第4号)を※7別に定める期日までに、市町村教育委員会あて提出する。

イ 市町村教育委員会は、在籍校等研修指導計画書を※8別に定める期日までに、県教育センター所長あて提出する。

(県立学校)

ウ 校長は、在籍校等研修指導計画書(様式第4号)を※9別に定める期日までに、県教育センター所長に提出する。

(4) その他

在籍校等研修において、各学校の要請により県教育センター指導主事が支援できる。ただし、事前の連絡により日程及び内容等の調整を行う。

7 校内指導体制等

- (1) 校長は、指導・助言に当たる者を決定し、研究授業・教材研究等を通じた研修や特

定のテーマについての課題研究が円滑かつ効果的に実施できるよう校内体制を整備するものとする。

(2) 校長は、次のア、イに留意のうえ、教頭及び指導・助言に当たる者と連携して10年経験者研修が効果的に実施できるよう努めるものとする。

ア 受講者に研修の目的及び研修計画等を十分に理解させ、研修意欲を高めるよう配慮する。

イ 受講者の悩みや現状を把握して適切な助言・支援を行う等、研修意欲が継続するよう配慮する。

8 研修後の評価及び研修成果報告書の提出

(小学校等)

(1) 校長は、10年経験者研修終了時に実施細則に基づき、受講者ごとに評価票の評価案Aにより研修後の評価を行うとともに研修成果報告書(様式第5号)を作成し、※1.0別に定める期日までに市町村教育委員会に提出する。

(2) 市町村教育委員会は評価案Aの研修後評価及び研修成果報告書を決定し、評価案A及び研修成果報告書を※1.1別に定める期日までに、県教育センター所長あて提出する。

(県立学校)

(3) 校長は、10年経験者研修終了時に実施細則に基づき、受講者ごとに評価票の評価案Aにより研修後の評価を行うとともに研修成果報告書(様式第5号)を作成し、評価案A及び研修成果報告書を※1.2別に定める期日までに、県教育センター所長あて提出する。

9 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項については、県教育センター所長が別に定める。

注) 別に定める期日(※1～12)は別紙参照

平成20年度10年経験者研修（教諭）研修内容及び研修日数

1 教諭 小学校

分類等		研修内容		日数				
教育センター等研修	共通研修	研修ガイダンス 情報倫理・学校経営 教育法規・人材育成 人権教育・道徳教育 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 研修概要 学校組織マネジメント 教育法規 人権教育に関する実践力の向上 道徳教育の課題 特別支援教育 	<ul style="list-style-type: none"> 情報倫理と個人情報の取扱い キャリアの振り返り 本県の今日的課題 広い視野の育成 道徳の時間の学習指導案作成、資料分析 P T Aとの連携 	4日			
	教科指導等研修	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の編成と評価 		1日	6日		
		教科指導等	<ul style="list-style-type: none"> 研究課題の確認 課題の認識と研修計画 指導方法の工夫について カリキュラムについて 特別活動 教科研修のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 評価規準の考え方 学習指導案・評価票等の検討 授業の実際と研究 総合的な学習の時間 レポート発表 	5日			
	生徒指導等研修	I	生徒指導の基礎・基本	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の基礎・基本 生徒指導上の今日的課題について 		2日	4日	
			II	学級・ホームルーム経営	<ul style="list-style-type: none"> 居場所のある学級づくり ホームルーム経営について 			
		選択研修	関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 紹介及び現状と課題、グループ別研究協議 				2日
			人間関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトアドベンチャー 構成的グループエンカウンター 				
			危機対応	<ul style="list-style-type: none"> 学校危機への教師の役割と実践的対応について 				
			事例研究	<ul style="list-style-type: none"> グループ別生徒指導事例研究 				
	自己決課題研修	自己課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 研修テーマ（在籍校等研修A・B）に応じた主に校外における研修（体験研修、他校種研修、各種研修会等） 		2日	3日		
<ul style="list-style-type: none"> 研修成果発表会（該当する教育委員会ごと開催） 研修成果に関する発表及び研究協議 				1日				
在籍校等研修	受講者の課題に応じた教科の実践的研修や課題研究等	<ul style="list-style-type: none"> 学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修（A）（教科指導等研修と関連） 教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究（B） 教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ（C） 		20日				

2 教諭 中学校

分類等		研修内容		日数			
教育センター等研修	共通研修	研修ガイダンス 情報倫理・学校経営 教育法規・人材育成 人権教育・道徳教育 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・研修概要 ・学校組織マネジメント ・教育法規 ・人権教育に関する実践力の向上 ・道徳教育の課題 ・特別支援教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報倫理と個人情報の取扱い ・キャリアの振り返り ・本県の今日的課題 ・広い視野の育成 ・道徳の時間の学習指導案作成、資料分析 ・P T Aとの連携 	4日		
	教科指導等研修	教育課程	・教育課程の編成と評価		1日	6日	
		教科指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・研究課題の確認 ・課題の認識と研修計画 ・指導方法の工夫について ・カリキュラムについて ・特別活動 ・教科研修のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価規準の考え方 ・学習指導案・評価票等の検討 ・授業の実際と研究 ・総合的な学習の時間 ・レポート発表 	5日		
	生徒指導等研修	I	生徒指導の基礎・基本	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の基礎・基本 ・生徒指導上の今日的課題について 		2日	4日
			II	学級・ホームルーム経営	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所のある学級づくり ・ホームルーム経営について 		
		選択	関係機関との連携	・紹介及び現状と課題、グループ別研究協議		2日	
			人間関係づくり	・プロジェクトアドベンチャー	・構成的グループエンカウンター		
			危機対応	・学校危機への教師の役割と実践的対応について			
			事例研究	・グループ別生徒指導事例研究			
	性教育・いのちの教育	・事例集について	・性に関する問題と性教育の実際				
自己決課題研修	自己決課題	自己課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマ（在籍校等研修 A・B）に応じた主に校外における研修（体験研修、他校種研修、各種研修会等） 	2日	3日		
			<ul style="list-style-type: none"> ・研修成果発表会（該当する教育委員会ごとに開催） 研修成果に関する発表及び研究協議 	1日			
在籍校等研修	受講者の課題に応じた教科の実践的研修や課題研究等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修（A） （教科指導等研修と関連） ・教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究（B） ・教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ（C） 	20日				

3 教諭 高等学校

分類等		研修内容		日数		
教育センター等研修	共通研修	研修ガイダンス 情報倫理・学校経営 教育法規・人材育成 人権教育・キャリア教育 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・研修概要 ・情報倫理と個人情報の取扱い ・学校組織マネジメント ・キャリアの振り返り ・教育法規 ・本県の今日的課題 ・広い視野の育成 ・人権教育に関する実践力の向上 ・キャリア教育の現状と課題 ・特別支援教育 ・PTAとの連携 	4日		
	教科指導等研修	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成と評価 	1日	6日	
		教科指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・研究課題の確認 ・評価規準の考え方 ・課題の認識と研修計画 ・学習指導案・評価票等の検討 ・指導方法の工夫について ・授業の実際と研究 ・カリキュラムについて ・総合的な学習の時間 ・特別活動 ・教科研修のまとめ ・レポート発表 	5日		
	生徒指導等研修	I	生徒指導の基礎・基本	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の基礎・基本 ・生徒指導上の今日的課題について 	2日	4日
			II	学級・ホームルーム経営	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所のある学級づくり ・ホームルーム経営について 	
		選択	関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介及び現状と課題、グループ別研究協議 		
			人間関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトアドベンチャー ・構成的グループエンカウンター 		
			危機対応	<ul style="list-style-type: none"> ・学校危機への教師の役割と実践的対応について 	2日	
			事例研究	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ別生徒指導事例研究 		
	性教育・いのちの教育	<ul style="list-style-type: none"> ・事例集について ・性に関する問題と性教育の実際 				
自己決課題研修	自己決課題	自己課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマ（在籍校等研修 A・B）に応じた主に校外における研修（体験研修、他校種研修、各種研修会等） 	2日	3日	
		<ul style="list-style-type: none"> ・研修成果発表会（該当する教育委員会ごとに開催） ・研修成果に関する発表及び研究協議 	1日			
在籍校等研修	受講者の課題に応じた教科の実践的研修や課題研究等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修 (A)（教科指導等研修と関連） ・教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究 (B) ・教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ (C) 	20日			

4 教諭 特別支援学校

分類等		研修内容		日数			
教育センター等 研修	共通研修	研修ガイダンス 情報倫理・学校経営 教育法規・人材育成 人権教育・キャリア教育 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・研修概要 ・情報倫理と個人情報の取扱い ・学校組織マネジメント ・キャリアの振り返り ・教育法規 ・本県の今日的課題 ・広い視野の育成 ・人権教育に関する実践力の向上 ・キャリア教育の現状と課題 ・特別支援教育 ・PTAとの連携 	4日			
	教科指導等研修	教育課程	・教育課程の編成と評価	1日	6日		
		教科指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画と個別の教育支援計画について ・自閉症の指導と支援 ・教育相談と心理検査の実際 ・授業の実際と課題整理 ・授業改善に向けた協議 ・教科研修のまとめ ・レポート発表 	5日			
	生徒指導等研修 選択	I	生徒指導の基礎・基本	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の基礎・基本 ・生徒指導上の今日的課題について 	2日	4日	
			II	学級・ホームルーム経営	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所のある学級づくり ・ホームルーム経営について 		2日
		選	関係機関との連携	・紹介及び現状と課題、グループ別研究協議	2日		
			人間関係づくり	・プロジェクトアドベンチャー			・構成的グループエンカウンター
			危機対応	・学校危機への教師の役割と実践的対応について			
			事例研究	・グループ別生徒指導事例研究			
	性教育・いのちの教育	・事例集について		・性に関する問題と性教育の実際			
自己決課題研修	自己決課題	自己課題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・研修テーマ（在籍校等研修 A・B）に応じた主に校外における研修（体験研修、他校種研修、各種研修会等） ・研修成果発表会（該当する教育委員会ごとに開催） ・研修成果に関する発表及び研究協議 	2日	3日		
		1日					
在籍校等研修	受講者の課題に応じた教科の実践的研修や課題研究等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修 (A)（教科指導等研修と関連） ・教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究 (B) ・教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ (C) 	20日				

平成20年度10年経験者研修（教諭）実施要項第3項及び第6項並びに第8項における別に定める期日について

小中学校等関係

書 類	学校→市町村教育委員会	市町村教育委員会→教育センター
評価票（様式第1号）及び教育センター等研修調査票（様式第2号の1・2）	※1 平成20年5月2日（金）	※2 平成20年5月12日（月）
研修計画書（様式第3号）	※3 平成20年6月6日（金）	※4 平成20年6月13日（金）
在籍校等研修指導計画書（様式第4号）	※7 平成20年8月29日（金）	※8 平成20年9月5日（金）
研修成果報告書（様式第5号）及び評価票の評価案A	※10 平成21年3月6日（金）	※11 平成21年3月13日（金）

注）市町村教育委員会は、決定した研修計画書（様式第3号）に変更が生じたときには、速やかに県教育センターに連絡する。

県立学校関係

書 類	校長→教育センター（県教育委員会）
評価票（様式第1号）及び教育センター等研修調査票（様式第2号の1・2）	※5 平成20年5月12日（月）
研修計画書（様式第3号）	※6 平成20年6月13日（金）
在籍校等研修指導計画書（様式第4号）	※9 平成20年9月5日（金）
研修成果報告書（様式第5号）及び評価票の評価案A	※12 平成21年3月13日（金）

注）校長は、決定した研修計画書（様式第3号）に変更が生じたときには、速やかに県教育センターに連絡する。

平成20年度10年経験者研修（教諭）における評価票、 研修計画書及び研修成果報告書作成等実施細則

平成20年度10年経験者研修（教諭）実施要項（以下「実施要項」という。）の3の(1)及び(6)の規定に基づき、評価における取扱い及び研修計画書並びに研修成果報告書の作成等に関し、必要な事項を次のとおり定める。

1 評価基準及び評価項目

(1) 受講者の評価を行う際の基準は、4段階評価とし、次表のとおりとする。

4	在職期間が9年を経過した受講者に求められる程度以上に優れている
3	在職期間が9年を経過した受講者に求められる一般的な程度を十分に満たしている
2	在職期間が9年を経過した受講者に求められる最低限の程度を満たしている
1	在職期間が9年を経過した受講者に求められる最低限の程度を満たしていない

(2) 受講者の評価に使用する評価項目等必要な事項は、各職種あるいは各校種ごと別表1～別表4に示すとおりとする。

2 評価票、研修計画書及び研修成果報告書の作成に当たっての留意点

(1) 受講者の評価票、研修計画書及び研修成果報告書の作成に当たり、校長は、教頭や教務主任等を活用するなど、受講者の学習指導及び生徒指導並びに校務運営等に関する指導力の把握に努めること。

(2) 研修計画時には、受講者が自らの課題や適性、得意分野等を再確認することを通して研修意欲を高めたり、研修内容をより適切なものにしたたりする観点から、受講者自身に自己評価を行わせ、研修内容に関する意見や希望と併せて聴取することが望ましいこと。

(3) 評価票、研修計画書及び研修成果報告書の作成は、本人の自己評価や意見等をよく把握したうえで教育委員会としての権限と責任において行う。

3 評価の取扱い等

(1) 評価は、研修計画の作成や指導計画に生かしたり、また、今後の研修課題を把握して研修成果を見極めたりするなど、10年経験者研修を効果的なものとするために実施するものであり、受講者ごとの評価はこの観点に立って取り扱うこと。

(2) 受講者自身が自らの課題を明確に認識して研修に取り組めるよう、校長は、決定した評価、研修計画及び研修成果について、必要に応じてその概要等を説明すること。

4 その他

その他必要な事項については、県教育センター所長が別に定める。

別表1 (教諭 小学校)

1 学習指導に関する評価項目

(1) 計 画	① 教材の研究や教材活用の工夫をしている
	② 年間指導計画に基づいて、単元目標の設定・評価規準の作成をしている
	③ 補助教材や教育機器など教材・教具を工夫している
	④ 個別指導やグループ別指導など指導方法を工夫している
	⑤ 児童の興味・関心を生かし、体験的な学習や問題解決的な学習を重視している
(2) 授 業 実 施 の 施	① 発問、板書など基本技術を身に付けている
	② ねらいに沿った学習活動を展開している
	③ 教材・教具を適切に活用している
	④ 授業評価システム等を活用した授業改善に取り組んでいる
(3) そ の 他	① 児童が正しく美しい国語を用い、言語の役割や機能について意識や関心をもてるよう指導している
	② 情報活用や情報教育に関する基礎的・基本的な考え方を理解している
	③ 情報機器を授業に生かすことができる
	④ 家庭学習など児童の自主的な学習態度の育成に取り組んでいる
	⑤ 学校図書館の活用など、読書活動の工夫に取り組んでいる
	⑥ 他の教員と連携して学習指導に当たることができる

2 生徒指導に関する評価項目

(1) 児 理 童 解	① 日ごろから情報の把握に努めている
	② 個に応じた教育相談ができる
	③ 個に対する的確な分析をしている
(2) 対 応	① 教職員と児童の信頼関係及び児童相互の人間関係づくりに取り組んでいる
	② 不登校・いじめ等の教育課題にかかわる対応ができる
	③ 状況に応じた危機対応ができる
(3) 連 携	① 校内の生徒指導体制の中で自分の果たすべき役割を認識して指導に当たっている
	② 他の教職員と連携・協力して指導に当たっている
	③ 外部諸機関・諸団体との連携について理解している

3 校務運営に関する評価項目

(1) 学 級 経 営	① 学校教育目標や経営方針などに基づいて学級経営案(学年経営案)を作成し、適宜、評価を実施し改善に努めている
	② 学級や個人の目標設定の工夫や指導を行っている
	③ 教室空間の効果的利用など教室環境・学習環境の整備に取り組んでいる
	④ 係・当番活動など児童の自主的な集団活動の指導・助言を行っている
	⑤ 道徳・特別活動との関連を図った学級経営に取り組んでいる
	⑥ 地域や児童の実態に沿った特色ある学級経営に取り組んでいる
	⑦ 学年団等と連携して学級経営に取り組んでいる
(2) 連 携	① 情報提供や必要に応じた個別の連絡など、保護者との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる
	② 情報収集や協力など、地域との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる
	③ 必要に応じて学校外の関係機関と適切な連携・協力ができる
(3) そ の 他	① 危機管理の視点に立ち、児童の健康・安全面への指導や配慮を行っている
	② 電話や訪問者等への対応が適切である
	③ 人権意識など豊かな心を育むことに努めている
	④ 個人情報保護の視点に立って校務に取り組んでいる
	⑤ 担当する校務分掌について責任を果たしている
	⑥ 他の教職員とコミュニケーションを図っている

1～3の各項目について「課題として考えられる内容」として具体的な課題を記述する
得意分野及び特記事項について記述する
課題を総括し、研修テーマを設定する

別表2 (教諭 中学校)

1 学習指導に関する評価項目

(1) 計画	① 教材の研究や教材活用の工夫をしている
	② 年間指導計画に基づいて、単元目標の設定・評価規準の作成をしている
	③ 補助教材や教育機器など教材・教具を工夫している
	④ 個別指導やグループ別指導など指導方法を工夫している
	⑤ 生徒の興味・関心を生かし、体験的な学習や問題解決的な学習を重視している
(2) 授業の実施	① 発問、板書など基本技術を身に付けている
	② ねらいに沿った学習活動を展開している
	③ 教材・教具を適切に活用している
	④ 授業評価システム等を活用した授業改善に取り組んでいる
(3) その他	① 生徒が正しく美しい国語を用い、言語の役割や機能について意識や関心をもてるよう指導している
	② 情報活用や情報教育に関する基礎的・基本的な考え方を理解している
	③ 情報機器を授業に生かすことができる
	④ 家庭学習など生徒の自主的な学習態度の育成に取り組んでいる
	⑤ 学校図書館の活用など、読書活動の工夫に取り組んでいる
	⑥ 教務主任等他の教員と連携して学習指導に当たることができる

2 生徒指導に関する評価項目

(1) 生徒理解	① 日ごろから情報の把握に努めている
	② 個に応じた教育相談ができる
	③ 個に対する的確な分析をしている
(2) 対応	① 教職員と生徒の信頼関係及び生徒相互の人間関係づくりに取り組んでいる
	② 不登校・いじめ等の教育課題にかかわる対応ができる
	③ 状況に応じた危機対応ができる
(3) 連携	① 校内の生徒指導体制の中で自分の果たすべき役割を認識して指導に当たっている
	② 他の教職員と連携・協力して指導に当たっている
	③ 外部諸機関・諸団体との連携について理解している
(4) 進路指導	① 生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう指導を行っている
	② 指導計画に基づいた進路指導ができる

3 校務運営に関する評価項目

(1) 学級経営	① 学校教育目標や経営方針などに基づいて学級経営案(学年経営案)を作成し、適宜、評価を実施し改善に努めている
	② 学級や個人の目標設定の工夫や指導を行っている
	③ 教室空間の効果的利用など教室環境・学習環境の整備に取り組んでいる
	④ 学級での係活動や生徒会活動など生徒の自主的な集団活動の指導に取り組んでいる
	⑤ 道徳・特別活動との関連を図った学級経営に取り組んでいる
	⑥ 地域や生徒の実態に沿った特色ある学級経営に取り組んでいる
	⑦ 学年団等と連携して学級経営に取り組んでいる
(2) 連携	① 情報提供や必要に応じた個別の連絡など、保護者との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる
	② 情報収集や協力など、地域との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる
	③ 必要に応じて学校外の関係機関と適切な連携・協力ができる
(3) その他	① 危機管理の視点に立ち、生徒の健康・安全面への指導や配慮を行っている
	② 電話や訪問者等への対応が適切である
	③ 人権意識など豊かな心を育むことに努めている
	④ 個人情報保護の視点に立って校務に取り組んでいる
	⑤ 担当する校務分掌について責任を果たしている
	⑥ 他の教職員とコミュニケーションを図っている

1～3の各項目について「課題として考えられる内容」として具体的な課題を記述する
得意分野及び特記事項について記述する
課題を総括し、研修テーマを設定する

別表3 (教諭 高等学校)

1 学習指導に関する評価項目

(1) 計 画	①	教材の研究や教材活用の工夫をしている
	②	年間指導計画に基づいて、単元目標の設定・評価規準の作成をしている
	③	補助教材や教育機器など教材・教具を工夫している
	④	個別指導やグループ別指導など指導方法を工夫している
	⑤	生徒の興味・関心を生かし、体験的な学習や問題解決的な学習を重視している
(2) 授 業 実 施 の 施	①	発問、板書など基本技術を身に付けている
	②	ねらいに沿った学習活動を展開している
	③	教材・教具を適切に活用している
	④	授業評価システム等を活用した授業改善に取り組んでいる
(3) そ の 他	①	生徒が正しく美しい国語を用い、言語の役割や機能について意識や関心をもてるよう指導している
	②	情報活用や情報教育に関する基礎的・基本的な考え方を理解している
	③	情報機器を授業に生かすことができる
	④	家庭学習など生徒の自主的な学習態度の育成に取り組んでいる
	⑤	学校図書館の活用など、読書活動の工夫に取り組んでいる
	⑥	教務主任等他の教員と連携して学習指導に当たることができる

2 生徒指導に関する評価項目

(1) 生 理 徒 解	①	日ごろから情報の把握に努めている
	②	個に応じた教育相談ができる
	③	個に対する的確な分析をしている
(2) 対 応	①	教職員と生徒の信頼関係及び生徒相互の人間関係づくりに取り組んでいる
	②	不登校・いじめ等の教育課題にかかわる対応ができる
	③	状況に応じた危機対応ができる
(3) 連 携	①	校内の生徒指導体制の中で自分の果たすべき役割を認識して指導に当たっている
	②	他の教職員と連携・協力して指導に当たっている
	③	外部諸機関・諸団体との連携について理解している
(4) 進 指 導 路 導	①	生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう指導を行っている
	②	指導計画に基づいた進路指導ができる

3 校務運営に関する評価項目

(1) ホ ー ム ル ー ム 経 営	①	学校教育目標や経営方針などに基づいてホームルーム経営を計画し、適宜、評価を実施し改善に努めている
	②	ホームルームや個人の目標設定の工夫や指導を行っている
	③	教室空間の効果的利用など教室環境・学習環境の整備に取り組んでいる
	④	生徒の自主的な集団活動の指導に取り組んでいる
	⑤	地域や生徒の実態に沿った特色あるホームルーム経営に取り組んでいる
	⑥	学年団等と連携してホームルーム経営に取り組んでいる
(2) 連 携	①	情報提供や必要に応じた個別の連絡など、保護者との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる
	②	情報収集や協力など、地域との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる
	③	必要に応じて学校外の関係機関と適切な連携・協力ができる
(3) そ の 他	①	危機管理の視点に立ち、生徒の健康・安全面への指導や配慮を行っている
	②	電話や訪問者等への対応が適切である
	③	人権意識など豊かな心を育むことに努めている
	④	個人情報保護の視点に立って校務に取り組んでいる
	⑤	担当する校務分掌について責任を果たしている
	⑥	他の教職員とコミュニケーションを図っている

1～3の各項目について「課題として考えられる内容」として具体的な課題を記述する
得意分野及び特記事項について記述する
課題を総括し、研修テーマを設定する

別表4 (教諭 特別支援学校)

1 学習指導に関する評価項目

(1) 計 画	①	児童生徒等の障害についての理解と個々の実態把握ができています
	②	児童生徒等の実態に基づいて個別の指導計画を立案し、日々の指導に生かしている
	③	補助教材や教育機器など教材・教具を有効に活用している
	④	児童生徒等の興味・関心を生かし、体験的な学習や問題解決的な学習を重視している
	⑤	指導計画の作成に当たって、チームティーチングの具体的な工夫など、教員相互の連携に努めている
(2) 授 業 の 実 施	①	個々の児童生徒等の障害の状態や特性を考慮した支援ができています
	②	適切な言葉かけ、発問、板書などの基本技術を身に付けている
	③	個々のねらいに沿った学習活動を展開している
	④	教材・教具を適切に活用している
	⑤	授業評価システム等を活用した授業改善に取り組んでいる
(3) そ の 他	①	コミュニケーションに対する理解や関心を高め、児童生徒等のコミュニケーション活動が適切に行われるよう配慮している
	②	情報活用や情報教育に関する基礎的・基本的な考え方を理解している
	③	情報機器を授業に生かすことができる
	④	学校図書館の活用など、読書活動の工夫に取り組んでいる
	⑤	教務主任、学部主事等他の教員との連携・協力を努めている

2 生徒指導に関する評価項目

(1) 児 童 等 生 理 徒 解	①	日ごろから観察を中心に情報の把握に努めている
	②	児童生徒等に対する教育相談の方法を理解している
	③	個に対する的確な分析をしている
(2) 対 応	①	教職員と児童生徒等の信頼関係及び児童生徒等の相互の人間関係づくりに取り組んでいる
	②	不登校・いじめ等の教育課題にかかわる対応ができる
	③	状況に応じた危機対応ができる
(3) 連 携	①	校内の生徒指導体制の中で自分の果たすべき役割を認識して指導に当たっている
	②	他の教職員と連携・協力して指導に当たっている
	③	外部諸機関・諸団体との連携について理解している
(4) 進 指 導	①	児童生徒等が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、指導を行っている
	②	指導計画に基づいた進路指導ができる

3 校務運営に関する評価項目

(1) 学 級 営	①	学校目標や経営方針などに基づいて学級経営を計画し、適宜、評価を実施し改善に努めている
	②	学級や個人の目標設定の工夫や指導を行っている
	③	個々の実態に応じた教室環境・学習環境の整備に努めている
	④	係・当番活動など児童生徒等の自主的な集団活動の指導・助言を行っている
(2) 連 携	①	情報提供や必要に応じた個別の連絡など、保護者等との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる
	②	保護者等の思いを個別の指導計画に盛り込み、必要に応じて家庭等への適切な支援ができています
	③	寄宿舎、施設等、関係する機関と連絡を密にし、適切な連携を図っている
	④	機会をとらえて地域への特別支援学校の理解・啓発に努めている
(3) そ の 他	①	危機管理の視点に立ち、児童生徒等への健康・安全面への指導や配慮を行っている
	②	事故や問題が生じた場合、迅速な対応ができる
	③	人権意識など豊かな心を育むことに努めている
	④	個人情報保護の視点に立って校務に取り組んでいる
	⑤	担当する校務分掌について責任を果たしている
	⑥	他の教職員とコミュニケーションを図っている

1～3の各項目について「課題として考えられる内容」として具体的な課題を記述する
得意分野及び特記事項について記述する
課題を総括し、研修テーマを設定する

Ⅱ 平成20年度10年経験者研修（教諭）の概要

1 研修要項等

【1 年間研修計画】

1 小学校

形態の欄の◎は小、中、高、特別支援学校
○は生徒指導等研修(A～E)の選択
△は各教育事務所単位

教育センター等研修 (17日間)					
実施日	研修項目	研修内容	形態	実施場所	参照頁
4月25日(金)	共通研修Ⅰ (サテライトオンライン)	開講式、学校組織マネジメント、実践報告、情報倫理と個人情報情報の取扱い、研修について	◎	東：高知県教育センター本館 西：大方高等学校	18
6月2日(月)	教科指導等研修Ⅰ	教育課程について 課題の認識と研修計画		高知県教育センター分館	19
7月28日(月)	共通研修Ⅱ (各校種別開催)	道徳教育 人権教育	△	東部：安芸総合庁舎 中部：高知県教育センター分館 西部：幡多総合庁舎	18
7月29日(火)	教科指導等研修Ⅱ	学習指導案検討 指導方法の工夫について		高知県教育センター本館他	19
7月30日(水)	教科指導等研修Ⅲ	学習指導案・評価票等の検討		高知県教育センター本館他	19
7月31日(木)	生徒指導等研修Ⅰ	講義「生徒指導の基礎・基本」 演習「生徒指導上の今日的課題について」	◎	ウエルサンピア高知	25
8月1日(金)	生徒指導等研修 A関係機関との連携	課題提起「紹介及び現状と課題」 グループ別研究協議	◎ ○	アスパルこうち	25
8月5日(火)	共通研修Ⅲ	教育法規 読書活動の推進、食育 広い視野の育成	◎	ウエルサンピア高知	18
8月6日(水)	生徒指導等研修 B人間関係づくり	①プロジェクトアドベンチャー ②構成的グループエンカウンター	◎ ○	高知県教育センター分館 ※①または②を選択	25
8月7日(木)	生徒指導等研修 C危機対応	講義「学校危機への教師の役割と実践的対応について」	◎ ○	アスパルこうち	25
8月8日(金)	共通研修Ⅳ (サテライトオンライン)	特別支援教育 PTAとの連携	◎	東：高知県教育センター本館 西：大方高等学校	18
8月11日(月)	生徒指導等研修 D事例研究	グループ別生徒指導事例研究	◎ ○	高知県教育センター分館	25
8月12日(火)	教科指導等研修Ⅳ	カリキュラムについて、特別活動、総合的な学習の時間 学習指導案・評価票等の検討		高知県教育センター本館	19
8月13日(水)	教科指導等研修Ⅴ	授業の実際と研究		高知県教育センター本館	19
8月18日(月)	生徒指導等研修 E性教育・いのちの教育	講義「事例集について」「性に関する問題と性教育の実際」発表、校種別実践交換	◎ ○	高知県教育センター分館	25
8月22日(金)	生徒指導等研修Ⅱ	講義・演習「居場所のある学級づくり・ホームルーム経営について」	◎	ウエルサンピア高知	25
1月6日(火)	教科指導等研修Ⅵ	教科別研究協議・講義、教科研修レポートの発表、研修のまとめ、全体会		高知県教育センター本館	19
6月～2月 (2日間)	自己課題解決研修	各自の計画による	◎	主に校外	26
平成 年 月 日()	自己課題解決研修 研修成果発表会	10年経験者研修成果に関する発表・研究協議		市町村教育委員会ごと に定める	27

在籍校等研修 (20日間)				
5月～2月	A 学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修(教科指導等研修と関連)		主に校内	
	B 教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究		〃	28
	C 教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ(4日程度)		〃	

2 中学校

形態の欄の◎は小、中、高、特別支援学校
○は生徒指導等研修(A～E)の選択
△は各教育事務所単位

教育センター等研修 (17日間)					
実施日	研修項目	研修内容	種	実施場所	参照頁
4月25日(金)	共通研修Ⅰ (サテライトオンライン)	開講式、学校組織マネジメント、実践報告、情報倫理と個人情報情報の取扱い、研修について	◎	東：高知県教育センター本館 西：大方高等学校	18
5月27日(火)	教科指導等研修Ⅰ	教育課程について 課題の認識と研修計画		高知県教育センター本館	20
7月28日(月)	共通研修Ⅱ (各校種別開催)	道徳教育 人権教育	△	東部：安芸総合庁舎 中部：高知県教育センター分館 西部：幡多総合庁舎	18
7月29日(火)	教科指導等研修Ⅱ	学習指導案検討		高知県教育センター本館他	20
7月30日(水)	教科指導等研修Ⅲ	学習指導案検討		高知県教育センター本館他	20
7月31日(木)	生徒指導等研修Ⅰ	講義「生徒指導の基礎・基本」 演習「生徒指導上の今日的課題について」	◎	ウエルサンピア高知	25
8月1日(金)	生徒指導等研修 A関係機関との連携	課題提起「紹介及び現状と課題」 グループ別研究協議	◎ ○	アスパルこうち	25
8月5日(火)	共通研修Ⅲ	教育法規 読書活動の推進、部活動について 広い視野の育成	◎	ウエルサンピア高知	18
8月6日(水)	生徒指導等研修 B人間関係づくり	①プロジェクトアドベンチャー ②構成的グループエンカウンター	◎ ○	高知県教育センター分館 ※①または②を選択	25
8月7日(木)	生徒指導等研修 C危機対応	講義「学校危機への教師の役割と実践的対応について」	◎ ○	アスパルこうち	25
8月8日(金)	共通研修Ⅳ (サテライトオンライン)	特別支援教育 PTAとの連携	◎	東：高知県教育センター本館 西：大方高等学校	18
8月11日(月)	生徒指導等研修 D事例研究	グループ別生徒指導事例研究	◎ ○	高知県教育センター分館	25
8月14日(木)	教科指導等研修Ⅳ	カリキュラムについて、特別活動、総合的な学習の時間 学習指導案検討		高知県教育センター分館	20
8月15日(金)	教科指導等研修Ⅴ	(中高合同)教科別実技・演習		高知県教育センター本館他	20
8月18日(月)	生徒指導等研修 E性教育・いのちの教育	講義「事例集について」「性に関する問題と性教育の実際」発表、校種別実践交換	◎ ○	高知県教育センター分館	25
8月22日(金)	生徒指導等研修Ⅱ	講義・演習「居場所のある学級づくり・ホームルーム経営について」	◎	ウエルサンピア高知	25
1月5日(月)	教科指導等研修Ⅵ	教科別研究協議・講義、教科研修レポートの発表、研修のまとめ、全体会		高知県教育センター本館	20
6月～2月 (2日間)	自己課題解決研修	各自の計画による	◎	主に校外	26
平成 年 月 日()	自己課題解決研修 研修成果発表会	10年経験者研修成果に関する発表・研究協議		市町村教育委員会ごとに定める	27

在籍校等研修 (20日間)			
5月～2月	A	学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修(教科指導等研修と関連)	主に校内
	B	教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究	〃
	C	教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ(4日程度)	〃
			28

3 高等学校

形態の欄の◎は小、中、高、特別支援学校
○は生徒指導等研修(A～E)の選択

教育センター等研修 (17日間)					
実施日	研修項目	研修内容	形態	実施場所	参照頁
4月25日(金)	共通研修Ⅰ (サテライトオンライン)	開講式、学校組織マネジメント、実践報告、情報倫理と個人情報情報の取扱い、研修について	◎	東：高知県教育センター本館 西：大方高等学校	18
5月28日(水)	教科指導等研修Ⅰ	評価規準の考え方 課題の認識と研修計画		高知県教育センター本館	21
7月29日(火)	教科指導等研修Ⅱ	学習指導案検討		高知県教育センター本館他	21
7月30日(水)	教科指導等研修Ⅲ	学習指導案検討		高知県教育センター本館他	21
7月31日(木)	生徒指導等研修Ⅰ	講義「生徒指導の基礎・基本」 演習「生徒指導上の今日的課題について」	◎	ウエルサンピア高知	25
8月1日(金)	生徒指導等研修 A 関係機関との連携	課題提起「紹介及び現状と課題」 グループ別研究協議	◎ ○	アスパルこうち	25
8月4日(月)	共通研修Ⅱ (各校種別開催)	キャリア教育 人権教育		高知県教育センター本館	18
8月5日(火)	共通研修Ⅲ	教育法規 読書活動の推進、部活動について 広い視野の育成	◎	ウエルサンピア高知	18
8月6日(水)	生徒指導等研修 B 人間関係づくり	①プロジェクトアドベンチャー ②構成的グループエンカウンター	◎ ○	高知県教育センター分館 ※①または②を選択	25
8月7日(木)	生徒指導等研修 C 危機対応	講義「学校危機への教師の役割と実践的対応について」	◎ ○	アスパルこうち	25
8月8日(金)	共通研修Ⅳ (サテライトオンライン)	特別支援教育 PTAとの連携	◎	東：高知県教育センター本館 西：大方高等学校	18
8月11日(月)	生徒指導等研修 D 事例研究	グループ別生徒指導事例研究	◎ ○	高知県教育センター分館	25
8月14日(木)	教科指導等研修Ⅳ	教育課程について カリキュラムについて、特別活動、総合的な学習の時間		高知県教育センター本館	21
8月15日(金)	教科指導等研修Ⅴ	(中高合同)教科別実技・演習		高知県教育センター本館他	21
8月18日(月)	生徒指導等研修 E 性教育・いのちの教育	講義「事例集について」「性に関する問題と性教育の実際」発表、校種別実践交換	◎ ○	高知県教育センター分館	25
8月22日(金)	生徒指導等研修Ⅱ	講義・演習「居場所のある学級づくり・ホームルーム経営について」	◎	ウエルサンピア高知	25
12月26日(金)	教科指導等研修Ⅵ	教科別研究協議・講義、教科研修レポートの発表、研修のまとめ、全体会		高知県教育センター本館	21
6月～2月 (2日間)	自己課題解決研修	各自の計画による	◎	主に校外	26
平成21年 2月23日(月)	自己課題解決研修 研修成果発表会	10年経験者研修成果に関する発表・研究協議		高知県教育センター本館	27

在籍校等研修 (20日間)				
5月～2月	A 学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修(教科指導等研修と関連)		主に校内	
	B 教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究		〃	28
	C 教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ(4日程度)		〃	

4 特別支援学校

形態の欄の◎は小、中、高、特別支援学校
○は生徒指導等研修(A～E)の選択

教育センター等研修(17日間)					
実施日	研修項目	研修内容	形態	実施場所	参照頁
4月25日(金)	共通研修Ⅰ (サテライトオンライン)	開講式、学校組織マネジメント、実践報告、情報倫理と個人情報への取扱い、研修について	◎	東：高知県教育センター本館 西：大方高等学校	18
6月2日(月)	教科指導等研修Ⅰ	ガイダンス、特別支援教育の充実に向けて、LD、ADHD、高機能自閉症の指導と支援		高知県教育センター本館	22
7月29日(火)	教科指導等研修Ⅱ	特別支援学校の教育課程と編成、個別の指導計画と個別の教育支援計画について		高知県教育センター本館	22
7月30日(水)	教科指導等研修Ⅲ	自閉症の指導と支援、教育相談と心理検査の実践		高知県教育センター本館他	22
7月31日(木)	生徒指導等研修Ⅰ	講義「生徒指導の基礎・基本」 演習「生徒指導上の今日的課題について」	◎	ウェルサンピア高知	25
8月1日(金)	生徒指導等研修 A 関係機関との連携	課題提起「紹介及び現状と課題」 グループ別研究協議	◎ ○	アスパルこうち	25
8月4日(月)	共通研修Ⅱ (各校種別開催)	キャリア教育 人権教育		高知県教育センター本館	18
8月5日(火)	共通研修Ⅲ	教育法規 読書活動の推進、部活動について 広い視野の育成	◎	ウェルサンピア高知	18
8月6日(水)	生徒指導等研修 B 人間関係づくり	①プロジェクトアドベンチャー ②構成的グループエンカウンター	◎ ○	高知県教育センター分館 ※①または②を選択	25
8月7日(木)	生徒指導等研修 C 危機対応	講義「学校危機への教師の役割と実践的対応について」	◎ ○	アスパルこうち	25
8月8日(金)	共通研修Ⅳ (サテライトオンライン)	特別支援教育 PTAとの連携	◎	東：高知県教育センター本館 西：大方高等学校	18
8月11日(月)	生徒指導等研修 D 事例研究	グループ別生徒指導事例研究	◎ ○	高知県教育センター分館	25
8月12日(火)	教科指導等研修Ⅳ	授業の実践と課題整理		高知県教育センター本館	22
8月13日(水)	教科指導等研修Ⅴ	授業の実践と課題整理		高知県教育センター本館	22
8月18日(月)	生徒指導等研修 E 性教育・いのちの教育	講義「事例集について」「性に関する問題と性教育の実践」発表、校種別実践交換	◎ ○	高知県教育センター分館	25
8月22日(金)	生徒指導等研修Ⅱ	講義・演習「居場所のある学級づくり・ホームルーム経営について」	◎	ウェルサンピア高知	25
1月6日(火)	教科指導等研修Ⅵ	授業実践レポートの発表、授業改善に向けた協議、研修のまとめ		高知県教育センター本館	22
6月～2月 (2日間)	自己課題解決研修	各自の計画による	◎	主に校外	26
平成21年 2月23日(月)	自己課題解決研修 研修成果発表会	10年経験者研修成果に関する発表・研究協議		高知県教育センター本館	27

在籍校等研修(20日間)			
5月～2月	A 学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修(教科指導等研修と関連)	主に校内 " "	28
	B 教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究		
	C 教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ(4日程度)		

【2 共通研修】

10年経験者研修（教諭） 共通研修 実施要項

1 目的

教員としての専門性や教育観を高め、実践的指導力を確立するとともに、学年経営を視野に入れて教育実践に取り組むことのできる資質・指導力の向上と魅力ある教員の育成を図る。

2 日程及び内容

共通研修Ⅰ 4月25日（金）（サテライトオンライン）

会場 東地区：高知県教育センター本館 西地区：高知県立大方高等学校

9:00	9:30	12:00	13:00	15:00	17:00
受 付	開 講 式	講義・演習 学校組織マネジメント ーキャリアの振り返りー	昼 食	講義・演習 情報倫理と個人 情報の取扱い	前年度の 実践報告 研修につ いて

※ 参加会場の割り振りは、別途通知

※ 様式第1号の評価案A及び第2号について、事前に校長と相談し、作成した案を当日持参すること。（提出は後日）

共通研修Ⅱ（各校種別開催）

○小・中学校 7月28日（月）

会場 東部：安芸総合庁舎 中部：高知県教育センター一分館 西部：幡多総合庁舎

9:00	9:30	12:30	13:30	17:00
受 付	講義・演習 道徳教育	昼 食	講義・演習 人権教育	

○高等学校・特別支援学校 8月4日（月）

会場 高知県教育センター本館

9:00	9:30	12:30	13:30	17:00
受 付	講義・演習 キャリア教育	昼 食	講義・演習 人権教育	

共通研修Ⅲ 8月5日（火） 会場 ウェルサンピア高知

9:00 9:30 11:30 12:30 13:30 14:40 17:00

受 付	講義・演習 教育法規	本県の今日的 課題① 読書活動の推 進	昼 食	本県の今日的 課題② 部活動につい て 食育	講義 広い視野の育成 ～コミュニケーションの基本～
--------	---------------	------------------------------	--------	------------------------------------	---------------------------------

※本県の今日的課題②については小学校教諭は「食育」、中・高・特別支援学校教諭は「部活動について」を受講する

共通研修Ⅳ 8月8日（金）（サテライトオンライン）

会場 東地区：高知県教育センター本館 西地区：高知県立大方高等学校

9:00	9:30	12:30	13:30	17:00
受 付	講義・演習 特別支援教育	昼 食	研究協議 P T Aとの連携	

【3 教科指導等研修】

10年経験者研修（教諭）教科指導等研修（小学校）実施要項

1 目的

教科等教育の実践上の課題を究明し、広く深い観点から教科等教育をとらえることにより、児童の基礎学力の定着と学力向上につながる授業の創造のために、専門職としての指導力の向上を図る。

2 日程及び内容

I 平成20年6月2日(月) 会場 教育センター分館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	講義 「教育課程について」	昼 食	教科別研究協議 「課題の認識と研修計画」
--------	------------------	--------	-------------------------

II 7月29日(火) 会場 高知県教育センター本館他

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	教科別研究協議 「学習指導案検討」	昼 食	教科別講義・演習 「指導方法の工夫について」
--------	----------------------	--------	---------------------------

III 7月30日(水) 会場 高知県教育センター本館他

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	教科別講義・演習 「学習指導案、評価票等の検討」	昼 食	教科別講義・演習 「学習指導案、評価票等の検討」
--------	-----------------------------	--------	-----------------------------

IV 8月12日(火) 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:30 13:30 17:00

受 付	講義・実践発表・演習等 「カリキュラムについて」 「特別活動について」 「総合的な学習の時間について」	昼 食	講義・実践発表・演習等 「学習指導案、評価票等の検討」
--------	--	--------	--------------------------------

V 8月13日(水) 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:30 13:30 17:00

受 付	教科別実技・演習 「授業の実際と研究」 (模擬授業)	昼 食	教科別実技・演習 「授業の実際と研究」 (模擬授業)
--------	----------------------------------	--------	----------------------------------

VI 平成21年1月6日(火) 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 14:40 17:00

受 付	教科別研究協議・講義 「教科研修レポートの発表」	昼 食	「教科指導等研修のまとめ」	全体会 「教科研修レポートの発表」
--------	-----------------------------	--------	---------------	----------------------

10年経験者研修（教諭）教科指導等研修（中学校）実施要項

1 目的

教科等教育の実践上の課題を究明し、広く深い観点から教科等教育をとらえることにより、生徒の基礎学力の定着と学力向上につながる授業の創造のために、専門職としての指導力の向上を図る。

2 日程及び内容

I 平成20年5月27日（火） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	講義 「教育課程について」	昼 食	教科別協議 「課題の認識と研修計画」
--------	------------------	--------	-----------------------

II 7月29日（火） 会場 高知県教育センター本館・分館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	教科別講義・研究協議 「学習指導案検討等」	昼 食	教科別講義・研究協議 「学習指導案検討等」
--------	--------------------------	--------	--------------------------

III 7月30日（水） 会場 高知県教育センター本館・分館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	教科別講義・研究協議 「学習指導案検討等」	昼 食	教科別講義・研究協議 「学習指導案検討等」
--------	--------------------------	--------	--------------------------

IV 8月14日（木） 会場 高知県教育センター分館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	講義・実践発表・演習等 「カリキュラムについて」 「特別活動について」 「総合的な学習の時間について」	昼 食	教科別講義・研究協議 「学習指導案検討等」
--------	--	--------	--------------------------

V 8月15日（金） 会場 高知県教育センター本館・分館

9:00 9:30 12:30 13:30 17:00

受 付	中高合同教科別実技・演習等	昼 食	教科別実技・演習
--------	---------------	--------	----------

VI 平成21年1月5日（月） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 15:10 17:00

受 付	教科別研究協議・講義 「教科研修レポートの発表」	昼 食	「教科指導等研修のまとめ」	全体会 「教科別報告」
--------	-----------------------------	--------	---------------	----------------

10年経験者研修（教諭）教科指導等研修（高等学校）実施要項

1 目的

教科等教育の実践上の課題を究明し、広く深い観点から教科等教育をとらえることにより、生徒の基礎学力の定着と学力向上につながる授業の創造のために、専門職としての指導力の向上を図る。

2 日程及び内容

I 平成20年5月28日（水） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	全体及び教科別講義 「評価規準の考え方」	昼 食	教科別研究協議 「課題の認識と研修計画」
--------	-------------------------	--------	-------------------------

II 7月29日（火） 会場 高知県教育センター本館・分館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	教科別講義・研究協議 「学習指導案検討等」	昼 食	教科別講義・研究協議 「学習指導案検討等」
--------	--------------------------	--------	--------------------------

III 7月30日（水） 会場 高知県教育センター本館・分館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	教科別講義・研究協議 「学習指導案検討等」	昼 食	教科別講義・研究協議 「学習指導案検討等」
--------	--------------------------	--------	--------------------------

IV 8月14日（木） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	講義 「教育課程について」	昼 食	講義・実践発表・演習等 「カリキュラムについて」 「特別活動について」 「総合的な学習の時間について」
--------	------------------	--------	--

V 8月15日（金） 会場 高知県教育センター本館・分館

9:00 9:30 12:30 13:30 17:00

受 付	中高合同教科別実技・演習	昼 食	教科別実技・演習
--------	--------------	--------	----------

VI 12月26日（金） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 15:00 17:00

受 付	教科別研究協議 「教科研修レポートの発表」	昼 食	「教科指導等研 修のまとめ」	全体会 教科別報告
--------	--------------------------	--------	-------------------	--------------

10年経験者研修（教諭）教科指導等研修（特別支援学校）実施要項

1 目的

教科等教育の実践上の課題を究明し、広く深い観点から教科等教育をとらえることにより、児童生徒等の基礎学力の定着と学力向上につながる授業の創造のために、専門職としての指導力の向上を図る。

2 日程及び内容

I 平成20年6月2日（月） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受付	説明 「教科指導等研修ガイダンス」	講義 「特別支援教育の充実に向けて」	昼食	講義・演習 「LD、ADHD、高機能自閉症等の指導と支援」
----	----------------------	-----------------------	----	----------------------------------

II 7月29日（火） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受付	講義 「特別支援学校の教育課程について」	昼食	演習 「特別支援学校の教育課程の編成」	研究協議 「個別の指導計画と個別の教育支援計画について」
----	-------------------------	----	------------------------	---------------------------------

III 7月30日（水） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受付	講義・実践発表 「自閉症の指導と支援」	昼食	講義・演習 「教育相談と心理検査の実際」
----	------------------------	----	-------------------------

IV 8月12日（火） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:30 13:30 17:00

受付	授業研究 「授業の実際と課題整理 ～ビデオ分析～」	昼食	授業研究 「授業の実際と課題整理 ～ビデオ分析～」
----	---------------------------------	----	---------------------------------

V 8月13日（水） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:30 13:30 17:00

受付	授業研究 「授業の実際と課題整理 ～ビデオ分析～」	昼食	授業研究 「授業の実際と課題整理 ～ビデオ分析～」	全体発表
----	---------------------------------	----	---------------------------------	------

VI 平成21年1月6日（火） 会場 高知県教育センター本館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受付	授業研究 「授業実践研究レポートの発表」 「授業改善に向けた協議」	昼食	授業研究 「授業実践研究レポートの発表」 「授業改善に向けた協議」	「教科指導等研修のまとめ」
----	---	----	---	---------------

研修課題Aに関するフローチャート（小・中・高等学校）

10年経験者研修 教科指導等研修 6日	月	10年経験者研修 在籍校等研修 3～5日を含む日数を個別に必ず設定
<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通研修Ⅰ ガイダンス 教科選択希望を調整し、5月中旬に教科決定通知 	4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の発見 日頃の授業、評価に関する自己課題を洗い出し、教科自己課題調査票（共通研修Ⅰで配付）を作成する。課題の洗い出しのために、研究授業を行うことが望ましい。
	5月	<ul style="list-style-type: none"> 教科自己課題調査票内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 10年間の教科指導の振り返り ② 研修課題Aのテーマ（案） ③ 研修課題Aのテーマ設定の理由 ④ 研究内容の具体案
（研修計画書の作成・提出）	6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導案作成 教科指導等研修Ⅰの指導後に課題に沿って学習指導案を作成
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科指導等研修Ⅱ～Ⅴ 教科別 3日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導案検討（Ⅱ・Ⅲ） ・ 講義 ・ 実技・実習（模擬授業） 校種別研修 1日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義「教育課程について」 ・ 講義・実践発表等 「総合的な学習の時間について」 「特別活動について」 	7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科に関する内容で必ず設定するもの <ul style="list-style-type: none"> ① 模擬授業及び研究協議 ② 研究授業及び研究協議 教科指導等研修Ⅱ・Ⅲで検討した学習指導案を基に、管理職及び教員参加の下、11月末を目処に実施する。
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科外に関する内容で必ず設定するもの <ul style="list-style-type: none"> ① 総合的な学習の時間 ② 特別活動 ③ 道徳（小中） ①～③のうち一つ以上を研修計画の中を含める。研修の実施形態は、校内研修、研修報告、公開授業、指導計画・学習指導案検討等とする。
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科研修レポートの作成 研究の詳細及び成果と課題のまとめ
	11月	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科指導等研修Ⅵ <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究発表 ・ まとめ 一年間の研修について、発表・まとめを行い、今後の課題を明らかにする。 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科研修レポートの提出 作成及び提出については、下記「教科研修レポート作成要領」を参照。

教科研修レポート作成要領

1 目的

教科研修及び日々の授業実践の中で課題を発見し、授業改善を図る。また、教科研究の方法とその視点を学ぶことをねらいとする。

2 教科研修レポート作成の留意点

- (1) 「10年経験者研修レポート様式例」（P.49・50）を参照して作成すること。
- (2) A4判縦長、横書きで、両面刷り4枚（合計8ページ）以内とすること。
- (3) 在籍校等研修「研究授業」における学習指導案及び評価票は別添資料（両面刷り）とする。

3 提出期限及び提出先

教科研修レポート及び別添資料を市町村（学校組合）立学校は学校長・市町村（学校組合）教育委員会を通して、県立学校は学校長を通して、平成20年12月3日（水）までに、教育センター所長あて1部提出すること。（両面刷り、クリップ綴じで提出）

4 備考

「教科指導等研修Ⅵ」では、教科研修レポート及び学習指導案・授業評価票を、各教科で示した部数で持参すること。

研修課題Aに関するフローチャート（特別支援学校）

10年経験者研修 教科指導等研修 6日	月	10年経験者研修 在籍校等研修 3～5日を含む日数を個別に必ず設定
<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通研修Ⅰ ガイダンス 教科選択希望を調整し、5月中旬に教科決定通知 ○ 教科指導等研修Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義・演習 「特別支援教育の充実に向けて」等 (教科自己課題調査票持参) 	4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の発見 日頃の授業、評価に関する自己課題を洗い出し、教科自己課題調査票（共通研修Ⅰで配付）を作成する。課題の洗い出しのために、研究授業を行うことが望ましい。 教科自己課題調査票内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 10年間の教科指導の振り返り ② 研修課題Aのテーマ（案） ③ 研修課題Aのテーマ設定の理由 ④ 研究内容の具体案
	5月	
(研修計画書の作成・提出)	6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業実践 在籍校において6～7月に授業実践を行う。作成した学習指導案及び授業評価票並びに授業の様子を撮影したビデオを8月の教科指導等研修Ⅳ・Ⅴに持参する。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科指導等研修Ⅱ・Ⅲ <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義・演習等 「教育課程について」 「自閉症の指導と支援」 「教育相談と心理検査の実際」等 ○ 教科指導等研修Ⅳ・Ⅴ <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業研究 「授業の実際と課題整理 ～ビデオ分析～」 	7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科に関する内容で必ず設定するもの <ul style="list-style-type: none"> ① 模擬授業及び研究協議 ② 研究授業及び研究協議 教科指導等研修Ⅳ・Ⅴで課題となった点を解決するための授業改善を行い、管理職及び教員参加の下、11月末を目処に実施する。 ○ 教科外に関する内容で必ず設定するもの <ul style="list-style-type: none"> ① 自立活動 ② 特別活動 ③ 道徳(小中) ①～③のうち一つ以上を研修計画の中を含める。研修の実施形態は、校内研修、研修報告、公開授業、指導計画・学習指導案検討等とする。
	8月	
(研修計画書の作成・提出)	9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業実践研究レポートの作成 研究の詳細及び成果と課題のまとめ
(研修計画書の作成・提出)	11月	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科指導等研修Ⅵ <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究発表 ・ まとめ 一年間の研修について、発表・まとめを行い、今後の課題を明らかにする。 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業実践研究レポートの提出 作成及び提出については、下記「授業実践研究レポート作成要領」を参照。

授業実践研究レポート作成要領

1 目的

教科研修及び日々の授業実践の中で課題を発見し、授業改善を図る。また、教科研究の方法とその視点を学ぶことをねらいとする。

2 授業実践研究レポート作成の留意点

- (1) 「10年経験者研修レポート様式例」(P.49・50)を参照して作成すること。
- (2) A4判縦長、横書きで、両面刷り4枚(合計8ページ)以内とすること。
- (3) 在籍校等研修「研究授業」における学習指導案及び評価票は別添資料(両面刷り)とする。

3 提出期限及び提出先

授業実践研究レポート及び別添資料を市町村(学校組合)立学校は学校長・市町村(学校組合)教育委員会を通して、県立学校は学校長を通して、平成20年12月3日(水)までに、教育センター所長あて1部提出すること。(両面刷り、クリップ綴じで提出)

4 備考

「教科指導等研修Ⅵ」では、授業実践研究レポート及び学習指導案・授業評価票(持参部数は、後日連絡)と授業の様子がわかるビデオ1本を持参すること。

【4 生徒指導等研修】

10年経験者研修（教諭） 生徒指導等研修実施要項

1 目的

いじめ、不登校、非行等の問題行動の教育課題に対して、より具体的な対応や児童生徒への理解を深め、10年経験者としての資質・指導力の向上を図る。

2 日程及び内容

I 7月31日(木) 会場 ウェルサンピア高知

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	講義 「生徒指導の基礎・基本」	昼 食	演習 「生徒指導上の今日的課題について」
--------	--------------------	--------	-------------------------

II 8月22日(金) 会場 ウェルサンピア高知

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	実践 発表	講義 「居場所のある学級づくり・ホームルーム経営について」	昼 食	講義・演習 「居場所のある学級づくり・ホームルーム経営について」
--------	----------	----------------------------------	--------	-------------------------------------

【選択研修】

A 関係機関との連携 8月1日(金) 会場 アスパルこうち

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	全体 説明	課題提起 「紹介及び現状と課題」 (各関係機関①～④から)	昼 食	グループ別研究協議 (各関係機関①～④のグループに分かれて)	全体会 ・報告 ・まとめ
--------	----------	-------------------------------------	--------	-----------------------------------	--------------------

B 人間関係づくり 8月6日(水) 会場 高知県教育センター分館

9:00 9:30 12:15 13:15 17:00

受 付	演習①プロジェクトアドベンチャー	昼 食	演習①プロジェクトアドベンチャー
	演習②構成的グループエンカウンター		演習②構成的グループエンカウンター

C 危機対応 8月7日(木) 会場 アスパルこうち

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	講義 「学校危機への教師の役割と実践的対応について」	昼 食	講義・演習 「学校危機への教師の役割と実践的対応について」
--------	-------------------------------	--------	----------------------------------

D 事例研究 8月11日(月) 会場 高知県教育センター分館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	全体 会	グループ別 「生徒指導事例研究」	昼 食	グループ別 「生徒指導事例研究」
--------	---------	---------------------	--------	---------------------

E 性教育・いのちの教育 8月18日(月) 会場 高知県教育センター分館

9:00 9:30 12:00 13:00 17:00

受 付	講義 事例集について	講義 「性に関する問題と性教育の実際」	昼 食	協議・演習 「性に関する問題と性教育の実際」	発表
--------	---------------	------------------------	--------	---------------------------	----

【5 自己課題解決研修】

10年経験者研修（教諭） 自己課題解決研修実施要項

1 目的

10年経験者研修の一環として、受講者各自が、9年間の教育実践を振り返りながら1年間の教育に関する基本的課題や一人一人の実践上の課題について主に校外で研修を深め、教員としての指導力と実践力の向上を図る。

2 意義

自己課題解決研修とは、職務遂行能力等の向上を目的として自主的に行う研修をいう。それは10年経験者研修における評価をもとにして明らかになった課題や教師としての専門分野に取り組む個人研究であり、受講者が自分に必要な知識や能力について自ら認識し、自分の意思をもって能力の開発のために学習することである。

受講者はこの研修を通して、専門職として自らの力量を高め、人間性を磨き、自らの教育課題を明らかにするとともに、学校教育課題に適切に対応するために、絶えず研究と修養に励み、指導力の向上に努める必要がある。

3 研修期間

6月～2月中に3日間（10年経験者研修成果発表会を含む）

4 研修方法

- (1) 受講者は評価に基づき校長等と相談の上、研修テーマ**A**及び**B**を設定する。自己課題解決研修では、その研修テーマに応じて、主に校外で行う研修を2日、各教育委員会主催の「10年経験者研修成果発表会」（次頁「10年経験者研修成果発表会実施要項」参照）を1日としてそれぞれ計画する。
- (2) 研修場所は主に校外とし、地域等における体験活動、他校訪問及び受講者の研修テーマに応じた各種の研修会（県教育センター主催の専門研修、学校・市町村教委等主催の研修会、高知大学教育学部の行う自己課題解決研修に対応した研修、教員対象又は一般対象の研修会等）への参加等を選択し受講する。なお、選択に当たっては、校長及び市町村の判断並びに決定を必要とするため、内容や日程について事前に検討や相談をすること。

10年経験者研修（教諭）成果発表会実施要項

目的

10年経験者研修で得ることのできた成果と課題についてまとめ、報告・発表を通してプレゼンテーションの能力を高める。

○ 小学校及び中学校（市町村における研修成果発表会）

市町村単位、または近隣市町村との合同による教育研究発表会、地域や保護者を交えた研修会等の機会を生かし、研修の成果を共有する。

(1) 期 日

市町村教育委員会で決定する
平成 年 月 日（ ）

(2) 会場・日程・持参物等

市町村教育委員会で決定する。日程の最後に閉講式を行う。
「10年経験者研修成果レポート」及び「教科研修レポート（特別支援学校は授業実践研究レポート）」を市町村委員会から指定された部数持参すること

(3) 提出物

「10年経験者研修成果レポート」
10年経験者研修における研修テーマ B に関する成果と課題について、A4判縦長、横書きで、両面刷り3枚程度（合計6ページ程度）とし、レポート様式例（P.49・50）を参考に市町村（学校組合）教育委員会を通して、平成21年2月9日（月）までに教育センター所長あて提出する。
ただし、研修成果発表会の期日が平成21年2月9日（月）以前の場合は、発表当日の5日前を提出期日とする。

○ 県立学校

お互いの発表を聞き合い、グループ協議をとおして、今後の自己研修や教育実践に生かしていけるよう研修の成果を共有する。

(1) 期 日

平成21年2月23日（月）

(2) 会 場

高知県教育センター本館

(3) 日程・持参物

	9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	16:45	17:00
受 付	研修成果発表 グループ別発表及び研究協議		昼 食	研修成果発表 グループ別発表 及び研究協議	代表者発表	閉 講 式	

※「10年経験者研修成果レポート」と「教科研修レポート（特別支援学校は授業実践研究レポート）」を各10部当日持参すること。

※発表は一人20分程度とし、内容は研修テーマ B に関する内容を10分以上とする。

※当日、情報機器等を使って発表する場合は、担当まで事前に申し出ること。

(4) 提出物

「10年経験者研修成果レポート」
10年経験者研修における研修テーマ B に関する成果と課題について、A4判縦長、横書きで、両面刷り3枚程度（合計6ページ程度）とし、レポート様式例（P.49・50）を参考に、学校長を通して、平成21年2月9日（月）までに教育センター所長あて提出する。

【6 在籍校等研修】

10年経験者研修（教諭） 在籍校等研修実施要領

1 目的

10年経験者研修の一環として、受講者各自が、9年間の教育実践を振り返りながら1年間の研修テーマを設定し、教育に関する基本的課題や一人一人の実践上の課題について主に校内で研修を深め、教員としての指導力と実践力の向上を図る。

2 意義

在籍校等研修とは、在籍校等において主に課業期間中に実施する研修であり、10年経験者研修における評価で示されたそれぞれの課題に応じた実践的研修や課題研究を行う。

受講者はこの研修を通して、専門職として自らの力量を高め、人間性を磨き、自らの教育課題を明らかにするとともに、学校教育課題に適切に対応するために、絶えず研究と修養に励み、指導力の向上に努める必要がある。

3 研修内容

受講者ごとに課題に応じた研修を下記の**A**、**B**、**C**の内容で効果的に実施する。

- A** 学校内における研究授業、教材研究等を通じた教科研修（教科指導等研修と関連）
- B** 教科及び教科外に関する指導方法や教材開発等の特定課題研究
- C** 教育センター等研修・在籍校等研修に関する資料作成及びまとめ（4日程度）

A及び**B**の研修については、校長等との相談により評価に基づいた研修テーマをそれぞれ設定し、研修を計画するとともに校内の指導的立場にある教職員による指導・助言を得ること。また、**C**の研修では最終段階で校内においてより多くの教職員による指導を受ける機会をもつこと。

4 研修期間

合計20日間実施する。ただし、**A**については8～12月、他は5～2月の間に実施する。

5 他の研修との関連

Aの内容については、夏期休業中に行う教科指導等研修と関連させて、模擬授業及び研究協議、研究授業及び研究協議を11月末までに実施（『概要』P23、24参照）すること。小・中・高の場合は、教科外に関する内容として、総合的な学習の時間、特別活動、道徳（小中）のうち一つ以上を実施すること。特別支援の場合は、教科外に関する内容として、自立活動の時間、特別活動、道徳（小中）のうち一つ以上を実施すること。

Aと**B**の研修を深めるために自己課題解決研修（成果発表会を除く2日間）を関連させ計画すること。

6 研修テーマの例

- ・〇〇科におけるコンピュータを利用した学習指導法について
- ・ティームティーチングを活用した〇〇学習の在り方
- ・コミュニケーション能力を育成する〇〇教育に関する研究
- ・地域とつながる総合的な学習の時間の実践について
- ・知的障害教育における情報機器活用の実際

2 計画書等の様式

3 レポート様式例

1 平成20年度10年経験者研修（教諭）提出物一覧

小中学校等関係

書 類	学校→市町村教育委員会	市町村教育委員会→教育センター
評価票（様式第1号）及び教育センター等研修調査票（様式第2号の1・2）	平成20年5月2日（金）	平成20年5月12日（月）
研修計画書（様式第3号）	平成20年6月6日（金）	平成20年6月13日（金）
在籍校等研修指導計画書（様式第4号）	平成20年8月29日（金）	平成20年9月5日（金）
教科研修レポート及び学習指導案・授業評価票	教育委員会を通して教育センター 平成20年12月3日（水）	
10年経験者研修成果レポート	教育委員会を通して教育センター 平成21年2月9日（月） ただし成果発表会が平成21年2月9日（月）以前の場合は、当日の5日前	
研修成果報告書（様式第5号）及び評価票の評価案A	平成21年3月6日（金）	平成21年3月13日（金）

県立学校関係

書 類	校長→教育センター（県教育委員会）
評価票（様式第1号）及び教育センター等研修調査票（様式第2号の1・2）	平成20年5月12日（月）
研修計画書（様式第3号）	平成20年6月13日（金）
在籍校等研修指導計画書（様式第4号）	平成20年9月5日（金）
教科研修レポート及び学習指導案・授業評価票	平成20年12月3日（水）
10年経験者研修成果レポート	平成21年2月9日（月）
研修成果報告書（様式第5号）及び評価票の評価案A	平成21年3月13日（金）

2 計画書等の様式

様式第1号(教諭 小学校)

10年経験者研修 評価票(小学校)

平成 年 月 日

教育委員会		学 校 名	
校 長 名		受講者番号 氏名	

評価案 A

1 学習指導に関する評価項目		研修前評価	研修後評価
(1) 計画	①教材の研究や教材活用の工夫をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②年間指導計画に基づいて、単元目標の設定・評価規準の作成をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③補助教材や教育機器など教材・教具を工夫している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④個別指導やグループ別指導など指導方法を工夫している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤児童の興味・関心を生かし、体験的な学習や問題解決的な学習を重視している	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 授業実の施	①発問、板書など基本技術を身に付けている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②ねらいに沿った学習活動を展開している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③教材・教具を適切に活用している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④授業評価システム等を活用した授業改善に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) その他	①児童が正しく美しい国語を用い、言語の役割や機能について意識や関心をもてるよう指導している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②情報活用や情報教育に関する基礎的・基本的な考え方を理解している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③情報機器を授業に生かすことができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	④家庭学習など児童の自主的な学習態度の育成に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤学校図書館の活用など、読書活動の工夫に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥他の教員と連携して学習指導に当たることができる	4 3 2 1	4 3 2 1

2 生徒指導に関する評価項目		研修前評価	研修後評価
(1) 児童理解	①日ごろから情報の把握に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②個に応じた教育相談ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③個に対する的確な分析をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 対応	①教職員と児童の信頼関係及び児童相互の人間関係づくりに取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	②不登校・いじめ等の教育課題にかかわる対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③状況に応じた危機対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) 連携	①校内の生徒指導体制の中で自分の果たすべき役割を認識して指導に当たっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②他の教職員と連携・協力して指導に当たっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③外部諸機関・諸団体との連携について理解している	4 3 2 1	4 3 2 1

3 校務運営に関する評価項目		研修前評価	研修後評価
(1) 学級経営	①学校教育目標や経営方針などに基づいて学級経営案(学年経営案)を作成し、適宜、評価を実施し改善に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②学級や個人の目標設定の工夫や指導を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③教室空間の効果的利用など教室環境・学習環境の整備に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	④係・当番活動など児童の自主的な集団活動の指導・助言を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤道徳・特別活動との関連を図った学級経営に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥地域や児童の実態に沿った特色ある学級経営に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑦学年団等と連携して学級経営に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 連携	①情報提供や必要に応じた個別の連絡など、保護者との間に好ましい関係ができるように取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	②情報収集や協力など、地域との間に好ましい関係ができるように取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③必要に応じて学校外の関係機関と適切な連携・協力ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) その他	①危機管理の視点に立ち、児童の健康・安全面への指導や配慮を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②電話や訪問者等への対応が適切である	4 3 2 1	4 3 2 1
	③人権意識など豊かな心を育むことに努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④個人情報保護の視点に立って校務に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤担当する校務分掌について責任を果たしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥他の教職員とコミュニケーションを図っている	4 3 2 1	4 3 2 1

評価案 B

受講者番号 ()

大項目	小項目	評価平均	課題として考えられる内容
1 学習指導	(1)計画		
	(2)授業の実施		
	(3)その他		
2 生徒指導	(1)児童理解		
	(2)対応		
	(3)連携		
3 校務運営	(1)学級経営		
	(2)連携		
	(3)その他		
得意分野			
特記事項			
研修テーマ	A 教科研修		
	B 特定課題		

教育委員会		学 校 名	
校 長 名		受講者番号 氏名	

評 価 案 A

1 学習指導に関する評価項目

		研修前評価	研修後評価
(1) 計画	①教材の研究や教材活用の工夫をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②年間指導計画に基づいて、単元目標の設定・評価規準の作成をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③補助教材や教育機器など教材・教具を工夫している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④個別指導やグループ別指導など指導方法を工夫している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤生徒の興味・関心を生かし、体験的な学習や問題解決的な学習を重視している	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 授業実の施	①発問、板書など基本技術を身に付けている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②ねらいに沿った学習活動を展開している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③教材・教具を適切に活用している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④授業評価システム等を活用した授業改善に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) その他	①生徒が正しく美しい国語を用い、言語の役割や機能について意識や関心をもてるよう指導している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②情報活用や情報教育に関する基礎的・基本的な考え方を理解している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③情報機器を授業に生かすことができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	④家庭学習など生徒の自主的な学習態度の育成に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤学校図書館の活用など、読書活動の工夫に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥教務主任等他の教員と連携して学習指導に当たることができる	4 3 2 1	4 3 2 1

2 生徒指導に関する評価項目

(1) 生徒理解	①日ごろから情報の把握に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②個に応じた教育相談ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③個に対する的確な分析をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 対応	①教職員と生徒の信頼関係及び生徒相互の人間関係づくりに取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	②不登校・いじめ等の教育課題にかかわる対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③状況に応じた危機対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) 連携	①校内の生徒指導体制の中で自分の果たすべき役割を認識して指導に当たっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②他の教職員と連携・協力して指導に当たっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③外部諸機関・諸団体との連携について理解している	4 3 2 1	4 3 2 1
(4) 進路指導	①生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう指導を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②指導計画に基づいた進路指導ができる	4 3 2 1	4 3 2 1

3 校務運営に関する評価項目

(1) 学級経営	①学校教育目標や経営方針などに基づいて学級経営案(学年経営案)を作成し、適宜、評価を実施し改善に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②学級や個人の目標設定の工夫や指導を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③教室空間の効果的利用など教室環境・学習環境の整備に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	④学級での係活動や生徒会活動など生徒の自主的な集団活動の指導に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤道徳・特別活動との関連を図った学級経営に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥地域や生徒の実態に沿った特色ある学級経営に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑦学年団等と連携して学級経営に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 連携	①情報提供や必要に応じた個別の連絡など、保護者との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	②情報収集や協力など、地域との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③必要に応じて学校外の関係機関と適切な連携・協力ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) その他	①危機管理の視点に立ち、生徒の健康・安全面への指導や配慮を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②電話や訪問者等への対応が適切である	4 3 2 1	4 3 2 1
	③人権意識など豊かな心を育むことに努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④個人情報保護の視点に立って校務に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤担当する校務分掌について責任を果たしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥他の教職員とコミュニケーションを図っている	4 3 2 1	4 3 2 1

評価案 B

受講者番号 ()

大項目	小項目	評価平均	課題として考えられる内容
1 学 習 指 導	(1)計画		
	(2)授業の実施		
	(3)その他		
2 生 徒 指 導	(1)生徒理解		
	(2)対応		
	(3)連携		
	(4)進路指導		
3 校 務 運 営	(1)学級経営		
	(2)連携		
	(3)その他		
得意分野			
特記事項			
研修 テ ー マ	A 教科研修		
	B 特定課題		

学校名		校長名	
受講者番号		氏名	

評価案 A

1 学習指導に関する評価項目		研修前評価	研修後評価
(1) 計画	①教材の研究や教材活用の工夫をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②年間指導計画に基づいて、単元目標の設定・評価規準の作成をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③補助教材や教育機器など教材・教具を工夫している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④個別指導やグループ別指導など指導方法を工夫している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤生徒の興味・関心を生かし、体験的な学習や問題解決的な学習を重視している	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 授業の実施	①発問、板書など基本技術を身に付けている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②ねらいに沿った学習活動を展開している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③教材・教具を適切に活用している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④授業評価システム等を活用した授業改善に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) その他	①生徒が正しく美しい国語を用い、言語の役割や機能について意識や関心をもてるよう指導している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②情報活用や情報教育に関する基礎的・基本的な考え方を理解している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③情報機器を授業に生かすことができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	④家庭学習など生徒の自主的な学習態度の育成に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤学校図書館の活用など、読書活動の工夫に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥教務主任等他の教員と連携して学習指導に当たることができる	4 3 2 1	4 3 2 1
2 生徒指導に関する評価項目			
(1) 生徒理解	①日ごろから情報の把握に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②個に応じた教育相談ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③個に対する的確な分析をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 対応	①教職員と生徒の信頼関係及び生徒相互の人間関係づくりに取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	②不登校・いじめ等の教育課題にかかわる対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③状況に応じた危機対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) 連携	①校内の生徒指導体制の中で自分の果たすべき役割を認識して指導に当たっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②他の教職員と連携・協力して指導に当たっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③外部諸機関・諸団体との連携について理解している	4 3 2 1	4 3 2 1
(4) 進路指導	①生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう指導を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②指導計画に基づいた進路指導ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
3 校務運営に関する評価項目			
(1) ホームルーム経営	①学校教育目標や経営方針などに基づいてホームルーム経営を計画し、適宜、評価を実施し改善に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②ホームルームや個人の目標設定の工夫や指導を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③教室空間の効果的利用など教室環境・学習環境の整備に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	④生徒の自主的な集団活動の指導に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤地域や生徒の実態に沿った特色あるホームルーム経営に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥学年団等と連携してホームルーム経営に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 連携	①情報提供や必要に応じた個別の連絡など、保護者との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	②情報収集や協力など、地域との間に好ましい関係ができるよう取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③必要に応じて学校外の関係機関と適切な連携・協力ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) その他	①危機管理の視点に立ち、生徒の健康・安全面への指導や配慮を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②電話や訪問者等への対応が適切である	4 3 2 1	4 3 2 1
	③人権意識など豊かな心を育むことに努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④個人情報保護の視点に立って校務に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤担当する校務分掌について責任を果たしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥他の教職員とコミュニケーションを図っている	4 3 2 1	4 3 2 1

評価案 B

受講者番号 ()

大項目	小項目	評価平均	課題として考えられる内容
1 学 習 指 導	(1)計画		
	(2)授業の実施		
	(3)その他		
2 生 徒 指 導	(1)生徒理解		
	(2)対応		
	(3)連携		
	(4)進路指導		
3 校 務 運 営	(1)ホームルーム経営		
	(2)連携		
	(3)その他		
得意分野			
特記事項			
研修 テ ー マ	A 教科研修		
	B 特定課題		

学校名		校長名	
受講者番号		氏名	

評価案 A

1 学習指導に関する評価項目		研修前評価	研修後評価
(1) 計画	① 児童生徒等の障害についての理解と個々の実態把握ができています	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 児童生徒等の実態に基づいて個別の指導計画を立案し、日々の指導に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③ 補助教材や教育機器など教材・教具を有効に活用している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④ 児童生徒等の興味・関心を生かし、体験的な学習や問題解決的な学習を重視している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤ 指導計画の作成に当たって、ティームティーチングの具体的な工夫など、教員相互の連携に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 授業の実施	① 個々の児童生徒等の障害の状態や特性を考慮した支援ができています	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 適切な言葉かけ、発問、板書などの基本技術を身に付けている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③ 個々のねらいに沿った学習活動を展開している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④ 教材・教具を適切に活用している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤ 授業評価システム等を活用した授業改善に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) その他	① コミュニケーションに対する理解や関心を高め、児童生徒等のコミュニケーション活動が適切に行われるよう配慮している	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 情報活用や情報教育に関する基礎的・基本的な考え方を理解している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③ 情報機器を授業に生かすことができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	④ 学校図書館の活用など、読書活動の工夫に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤ 教務主任、学部主事等他の教員との連携・協力に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1

2 生徒指導に関する評価項目

(1) 児童等生徒理解	① 日ごろから観察を中心に情報の把握に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 児童生徒等に対する教育相談の方法を理解している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③ 個に対する的確な分析をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 対応	① 教職員と児童生徒等の信頼関係及び児童生徒等の相互の人間関係づくりに取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 不登校・いじめ等の教育課題にかかわる対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③ 状況に応じた危機対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) 連携	① 校内の生徒指導体制の中で自分の果たすべき役割を認識して指導に当たっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 他の教職員と連携・協力して指導に当たっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③ 外部諸機関・諸団体との連携について理解している	4 3 2 1	4 3 2 1
(4) 進路指導	① 児童生徒等が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、指導を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 指導計画に基づいた進路指導ができる	4 3 2 1	4 3 2 1

3 校務運営に関する評価項目

(1) 学級経営	① 学校目標や経営方針などに基づいて学級経営を計画し、適宜、評価を実施し改善に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 学級や個人の目標設定の工夫や指導を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③ 個々の実態に応じた教室環境・学習環境の整備に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④ 係・当番活動など児童生徒等の自主的な集団活動の指導・助言を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 連携	① 情報提供や必要に応じた個別の連絡など、保護者等との間に好ましい関係ができるように取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 保護者等の思いを個別の指導計画に盛り込み、必要に応じて家庭等への適切な支援ができています	4 3 2 1	4 3 2 1
	③ 寄宿舎、施設等、関係する機関と連絡を密にし、適切な連携を図っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④ 機会をとらえて地域への特別支援学校の理解・啓発に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) その他	① 危機管理の視点に立ち、児童生徒等への健康・安全面への指導や配慮を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	② 事故や問題が生じた場合、迅速な対応ができる	4 3 2 1	4 3 2 1
	③ 人権意識など豊かな心を育むことに努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④ 個人情報保護の視点に立って校務に取り組んでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤ 担当する校務分掌について責任を果たしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥ 他の教職員とコミュニケーションを図っている	4 3 2 1	4 3 2 1

評価案 B

受講者番号 ()

大項目	小項目	評価平均	課題として考えられる内容
1 学習指導	(1)計画		
	(2)授業の実施		
	(3)その他		
2 生徒指導	(1)児童生徒等理解		
	(2)対応		
	(3)連携		
	(4)進路指導		
3 校務運営	(1)学級経営		
	(2)連携		
	(3)その他		
得意分野			
特記事項			
研修テーマ	A 教科研修		
	B 特定課題		

様式第2号の1 (教諭 小学校)

教科指導等研修調査票

平成 年 月 日

教育委員会名		学 校 名	
校 長 名		受講者番号 氏名	
研 修 テ ー マ	A 教科研修		
	B 特定課題		

	教科名	学年	選択理由
第1 希望			
第2 希望			
第3 希望			

- ※ 教科名には国語、社会、算数、理科、生活・総合的な学習の時間、音楽、図画工作、家庭、体育の内から第1希望と第2希望及び第3希望を選択し、記入する。
- ※ 学校教育法第75条第1項各号に該当する児童生徒で編成されている学級を担当している場合は、教科指導等研修（特別支援学校）を選択することができる。

様式第2号の1 (教諭 中学校・県立学校)

教科指導等研修調査票

平成 年 月 日

教育委員会名 (県立学校は不要)		学 校 名	
校 長 名		受講者番号 氏名	
研 修 テ ー マ	A 教科研修		
	B 特定課題		

	I	II	教科指導等研修実施上の課題
教科			

- ※ 中学校 Iの欄に採用時の教科、IIの欄には、本年度に採用時の教科を担当せず、他の教科を担当している場合のみ、その教科名を記入する。また、学校教育法第75条第1項各号に該当する児童生徒で編成されている学級を担当している場合は、教科指導等研修（特別支援学校）を選択することができる。
- ※ 高等学校 Iの欄に教科名、IIの欄に担当している科目名を記入する。
- ※ 特別支援学校 Iの欄に所属している学部、IIの欄に教科等を記入する
- ※ それぞれ、教科指導等研修を進めていくうえで課題があれば、教科指導等研修実施上の課題の欄に記入する。

生徒指導等研修調査票

平成 年 月 日

学 校 名	立 学校
校 長 名	

受講者番号 氏名・教科（科目）		生徒指導等研修選択希望（※参照）				
		第1	第2	第3	第4	備 考
①						
②						
③						
④						
⑤						
⑥						

※ 生徒指導等研修の選択研修については、A～Eから四つの研修を選び希望順に記号を記入する。ただし、BについてはB①またはB②を選択し記入する。

調整して、受講する二つの研修を決定する。ただし、受講者数により第1・2希望以外になることもあるので、選択には十分留意すること。

教育委員会名				学 校 名					
校 長 名				受講者番号 氏名					
研修 テーマ	A 教科研修								
	B 特定課題								
研修計画		開催月日		研修名		選択・領域・内容等(自己研はA・B別と主催・会場を記入)			
教 育 セ ン タ ー 指 導 等	(1) 共 通 修	1	月	日()	共通研修 I				
		2	月	日()	共通研修 II				
		3	月	日()	共通研修 III				
		4	月	日()	共通研修 IV				
	(2) 教 科 指 導 等	研 修	5	月	日()	教科指導等研修 I			
			6	月	日()	教科指導等研修 II			
			7	月	日()	教科指導等研修 III			
			8	月	日()	教科指導等研修 IV			
			9	月	日()	教科指導等研修 V			
			10	月	日()	教科指導等研修 VI			
(3) 生 徒 指 導 等 自 己 研 修 (17日)	研 修	11	月	日()	I				
		12	月	日()	II				
		13	月	日()					
	(4) 自 己 研 修	研 修	14	月	日()				
			15	月	日()			主催 会場	
			16	月	日()			主催 会場	
			17	月	日()	研修成果 発表会	10年経験者研修における研修成果の発表 会場：		
在 籍 校 等 研 修 (20日)	実施月	研修課題Aに関する研修内容			日数	研修課題Bに関する研修内容		日数	C日数
	5月				日		日	日	
	6月				日		日	日	
	7月				日		日	日	
	8月				日		日	日	
	9月			日		日	日		
	10月			日		日	日		
	11月			日		日	日		
	12月			日		日	日		
	1月				日		日	日	
	2月				日		日	日	
	合計				日		日	日	

- 1 在籍校等研修の研修課題A・Bに関する内容として、①事前研究②研究授業(Bのみ)③研究協議④その他に種別し内容を計画すること。
- 2 在籍校等研修の研修課題Aに関する内容について (『概要』P23、24参照)
 - (1) 教科に関する内容として、ア模擬授業及び研究協議、イ研究授業及び研究協議を11月末までに計画すること。
 - (2) 小・中・高の場合は教科外に関する内容として、ウ総合的な学習の時間、エ特別活動、オ道徳(小中)のうち一つ以上を計画。
 - (3) 特別支援の場合は教科外に関する内容として、ウ自立活動、エ特別活動、オ道徳(小中)のうち一つ以上を計画。

教育委員会名		学 校 名	
校 長 名		受講者番号 氏名	

		研修テーマ	充当日数
A (教科研修)			日
B (特定課題)			日
	月 日	A～C別及び内容等	指導者
1	月 日()		
2	月 日()		
3	月 日()		
4	月 日()		
5	月 日()		
6	月 日()		
7	月 日()		
8	月 日()		
9	月 日()		
10	月 日()		
11	月 日()		
12	月 日()		
13	月 日()		
14	月 日()		
15	月 日()		
16	月 日()		
17	月 日()		
18	月 日()		
19	月 日()		
20	月 日()		

※ 在籍校等研修の研修課題Aに関する内容について（『概要』P23、24参照）

- (1) 教科に関する内容として、模擬授業及び研究協議、研究授業及び研究協議を11月末までに計画すること。
- (2) 小・中・高の場合は、教科外に関する内容として、総合的な学習の時間、特別活動、道徳（小中）のうち一つ以上を計画すること。
- (3) 特別支援の場合は、教科外に関する内容として、自立活動、特別活動、道徳（小中）のうち一つ以上を計画すること。

研修成果報告書(小学校)

平成 年 月 日

教育委員会名		学 校 名	
校 長 名		受講者番号 氏名	

1 評 価 (様式第1号の評価案Aに研修後の評価を記入し添付すること)

大項目	小項目	研修前 評価 平均	研修後 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 学 習 指 導	(1)計画			
	(2)授業の実施			
	(3)その他			
2 生 徒 指 導	(1)児童理解			
	(2)対応			
	(3)連携			
3 校 務 運 営	(1)学級経営			
	(2)連携			
	(3)その他			
得意分野	の伸長等			
所 感	校 長			
	教 育 長			

研修成果報告書(中学校)

平成 年 月 日

教育委員会名		学 校 名	
校 長 名		受講者番号 氏名	

1 評 価 (様式第1号の評価案Aに研修後の評価を記入し添付すること)

大項目	小項目	研修前 評価 平均	研修後 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 学 習 指 導	(1)計画			
	(2)授業の実施			
	(3)その他			
2 生 徒 指 導	(1)生徒理解			
	(2)対応			
	(3)連携			
	(4)進路指導			
3 校 務 運 営	(1)学級経営			
	(2)連携			
	(3)その他			
得意分野	の伸長等			
所 感	校 長			
	教 育 長			

学 校 名		校 長 名	
受 講 者 番 号		氏 名	

1 評 価 (様式第1号の評価案Aに研修後の評価を記入し添付すること)

大項目	小項目	研修前 評価 平均	研修後 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 学 習 指 導	(1)計画			
	(2)授業の実施			
	(3)その他			
2 生 徒 指 導	(1)生徒理解			
	(2)対応			
	(3)連携			
	(4)進路指導			
3 校 務 運 営	(1)学級経営			
	(2)連携			
	(3)その他			
得意分野	の伸長等			
校長所感				

学 校 名		校 長 名	
受 講 者 番 号		氏 名	

1 評 価 (様式第1号の評価案Aに研修後の評価を記入し添付すること)

大項目	小項目	研修前 評価 平均	研修後 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 学 習 指 導	(1)計画			
	(2)授業の実施			
	(3)その他			
2 生 徒 指 導	(1)生徒理解			
	(2)対応			
	(3)連携			
	(4)進路指導			
3 校 務 運 営	(1)ホームルーム経営			
	(2)連携			
	(3)その他			
得 意 分 野	の伸長等			
校 長 所 感				

研修成果報告書(特別支援学校)

平成 年 月 日

学 校 名		校 長 名	
受 講 者 番 号		氏 名	

1 評 価 (様式第1号の評価案Aに研修後の評価を記入し添付すること)

大項目	小項目	研修前 評価 平均	研修後 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 学 習 指 導	(1)計画			
	(2)授業の実施			
	(3)その他			
2 生 徒 指 導	(1)児童生徒等 理解			
	(2)対応			
	(3)連携			
	(4)進路指導			
3 校 務 運 営	(1)学級経営			
	(2)連携			
	(3)その他			
得意分野	の伸長等			
校長所感				

受講者番号 氏名

2 教育センター等研修報告書

		研修テーマ		
A (教科研修)				
B (特定課題)				
		開催月日	研修名	選択、領域、内容(自己研はA~C別と会場を記入)
(1) 共研 通修	1	月 日()	共通研修 I	
	2	月 日()	共通研修 II	
	3	月 日()	共通研修 III	
	4	月 日()	共通研修 IV	
(2) 教研 科修 指 導 等	5	月 日()	教科指導等研修 I	
	6	月 日()	教科指導等研修 II	
	7	月 日()	教科指導等研修 III	
	8	月 日()	教科指導等研修 IV	
	9	月 日()	教科指導等研修 V	
	10	月 日()	教科指導等研修 VI	
(3) 生 徒 指 導 等 研 修	11	月 日()	I	
	12	月 日()	II	
	13	月 日()		
	14	月 日()		
(4) 自 己 課 題 解 決 研 修	15	月 日()		主催 会場
	16	月 日()		主催 会場
	17	月 日()	研修成果発表会	10年経験者研修における研修成果の発表 会場：

受講者番号 氏名

3 在籍校等研修報告書

		研修テーマ		充当日数
A (教科研修)				日
B (特定課題)				日
	月 日	A～C別及び内容等		指導者
1	月 日()			
2	月 日()			
3	月 日()			
4	月 日()			
5	月 日()			
6	月 日()			
7	月 日()			
8	月 日()			
9	月 日()			
10	月 日()			
11	月 日()			
12	月 日()			
13	月 日()			
14	月 日()			
15	月 日()			
16	月 日()			
17	月 日()			
18	月 日()			
19	月 日()			
20	月 日()			

※ 在籍校等研修の研修課題Aに関する内容について (『概要』P23、24参照)

- (1) 教科に関する内容として、模擬授業及び研究協議、研究授業及び研究協議を11月末までに実施すること。
- (2) 小・中・高の場合は、教科外に関する内容として、総合的な学習の時間、特別活動、道徳(小中)のうち一つ以上を実施すること。
- (3) 特別支援の場合は、教科外に関する内容として、自立活動、特別活動、道徳(小中)のうち一つ以上を実施すること。

3 レポート様式例

(1) 教科研修レポート・授業実践研究レポート及び成果レポート様式例

平成20年度 10年経験者研修教科研修レポート(小、中、高)
平成20年度 10年経験者研修授業実践研究レポート(特別支援)
「〇〇〇〇 (研修テーマ A)」

平成20年度 10年経験者研修成果レポート
「〇〇〇〇 (研修テーマ B)」

学 校 名 〇〇立 〇〇学校
受講者番号〇〇 職名・氏名 〇〇 〇〇〇〇 教科 〇〇

1 はじめに

○・・
○・・

(大きな見出しの上は、1行分の余白をとる。)

2 研修テーマ設定の理由

(1) 〇〇〇〇

○・・

○・・

ア 〇〇〇〇

○・・

○・・

(ア) 〇〇〇〇

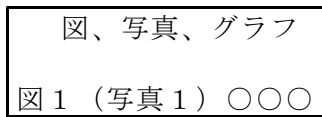
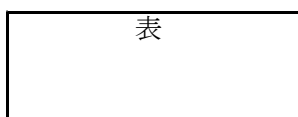
○・・

○・・

3 研修内容及び研究の経過

4 実践研究

表1 〇〇〇



5 考察

6 成果と課題

- 表記については、該当するものを表記してください。
- それぞれの項目は、必要に応じて加除・名称変更しても良いが、2～6の内容は必ず必要とする。
- 1年間を振り返ってまとめるという観点に立って作成すること。

【 執筆上の留意点 】

- A4判用紙（43文字×40行）に横書きとし、上20mm、下30mm、右20mm、左25mmを余白とする。
- テーマ、学校名、職名、氏名、見出し、項目番号等は、上記様式の記入例にしたがって記入する。
- 項目番号は、1－(1)－ア－(ア)－a－(a)を用いる。
- 文字サイズは標準（10.5ポイント）を用いる。ただし、テーマの文字サイズは、特に指定しない。
- 英字あるいは数字については、1文字の場合は全角とし、2文字の場合は半角とする。
- 文体は、通常「・・・である。」とする。
- 句読点は、「、」「。」を用いる。
- 1ページごとにページ番号をふる。

(2) 個人情報保護にかかわって

- ・ 児童・生徒等の個人名は記載しない。また、記述内容についても個人情報保護の観点に照らし、十分配慮をする。
- ・ 児童・生徒の作品、作文、個人が特定される写真等を掲載する場合は、必ず本人及び保護者の承諾を得るとともに「掲載物使用承諾済」とレポートの末尾に記す。

(3) 著作権にかかわって

- ・ 参考、引用文献については、著書名、著作者名をレポートの末尾にまとめて記す。
- ・ 授業の過程で使用した既存の著作物について、著作者の許諾を得ていない場合は掲載しない。

4 会場案内図

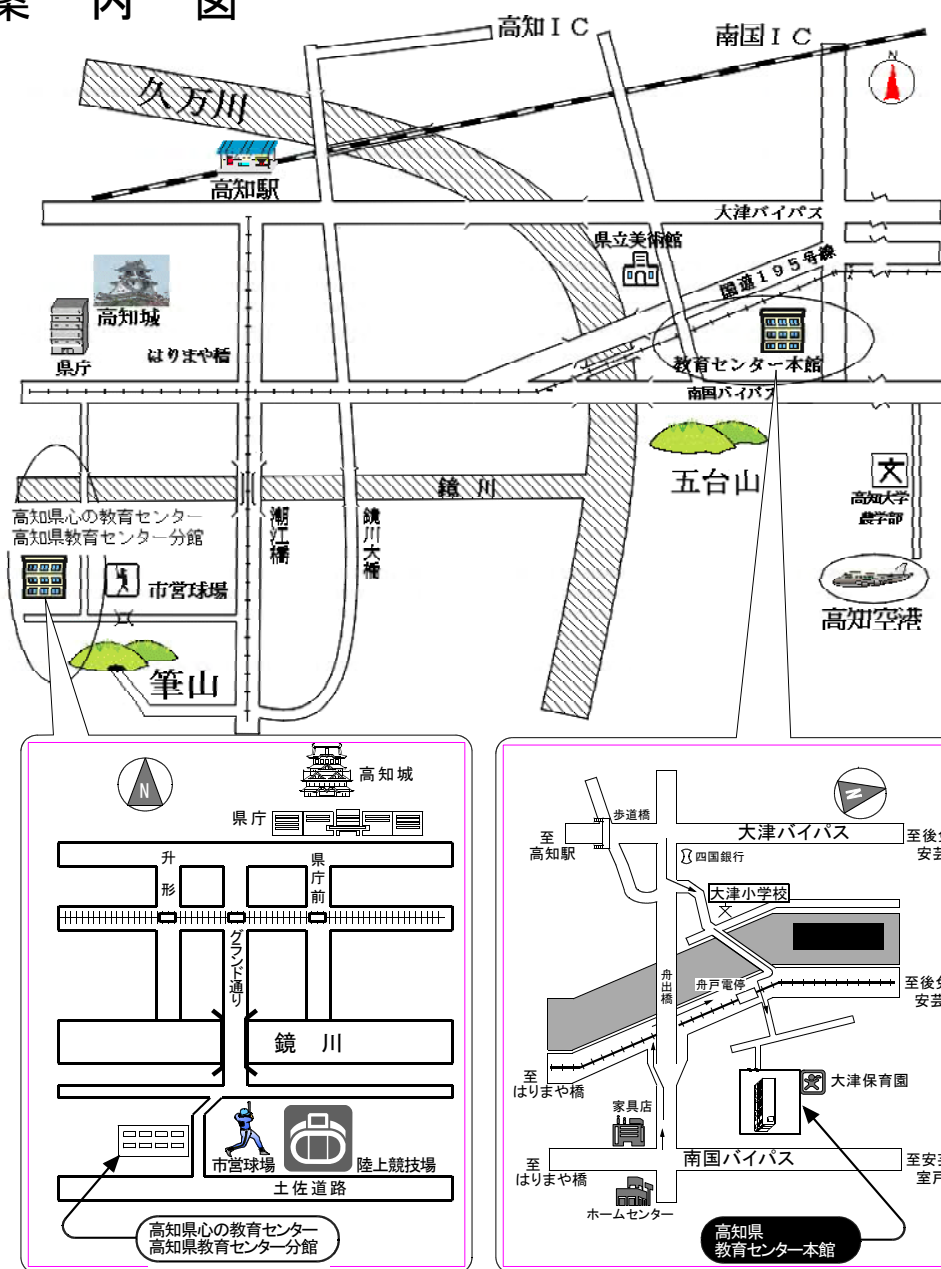
4 会場案内図

各会場に関する注意事項

- 高知県教育センター本館、ウェルサンピア高知の駐車場は一定の台数分の確保はできますが、その他の会場については、駐車台数に限りがあります。公共交通機関を利用する等、御協力ください。
- 駐車場を利用する場合は、係の指示、その他のマナーに留意してください。

高知県教育センター本館・分館

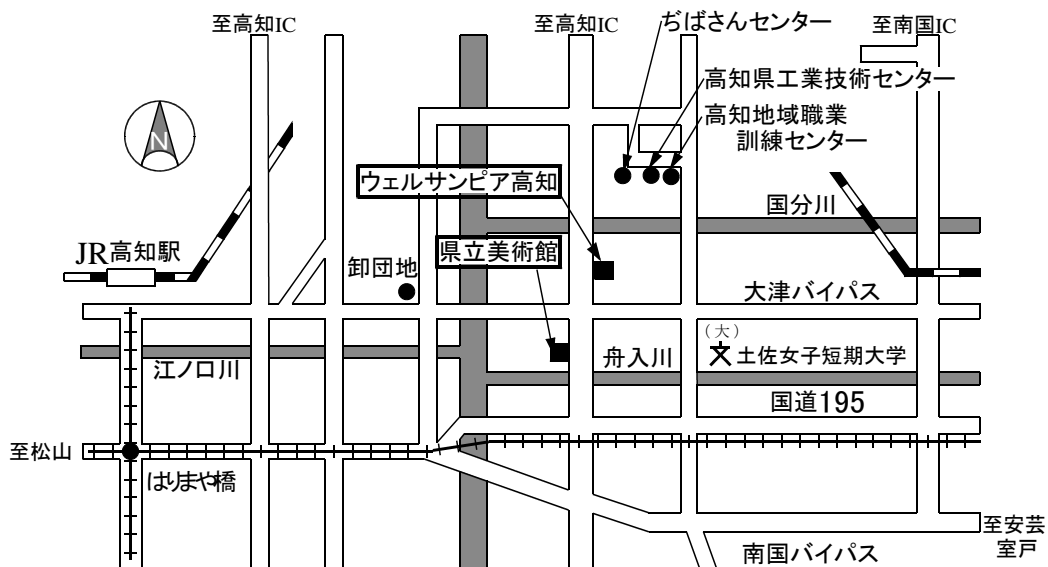
案内図



高知県教育センター 〒781-5103 高知市大津乙181番地
Tel 088-866-3890 Fax 088-866-0074

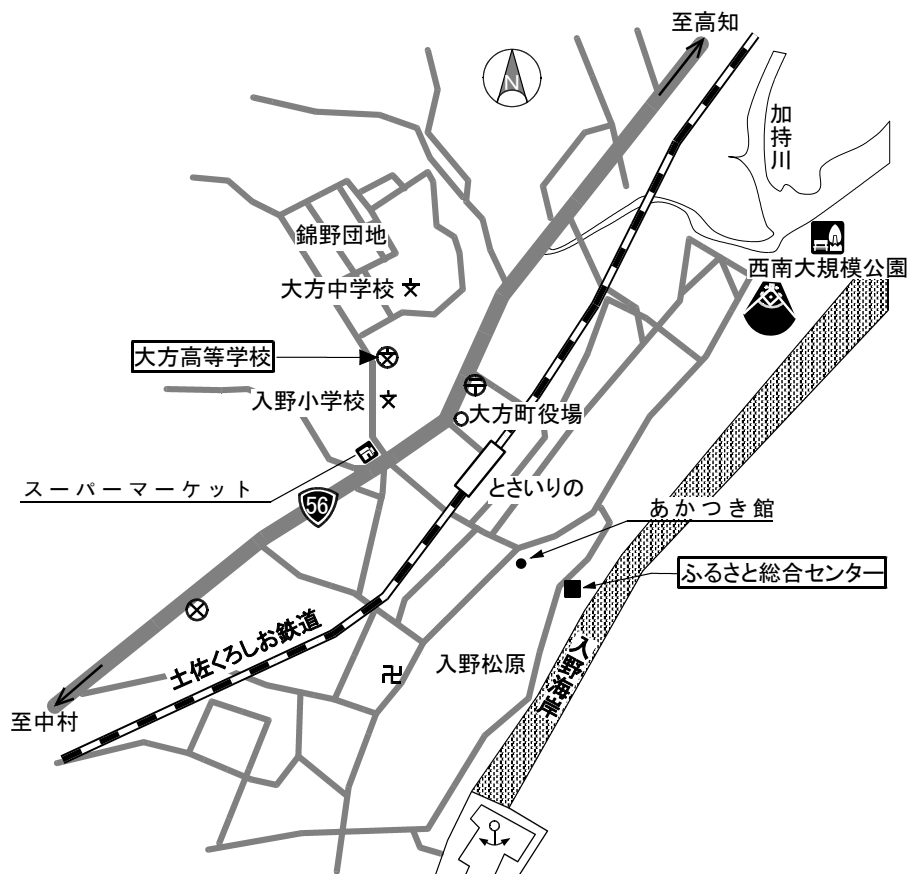
ウェルサンピア高知

高知市高須砂地 1 5 5 Tel 088-866-7000



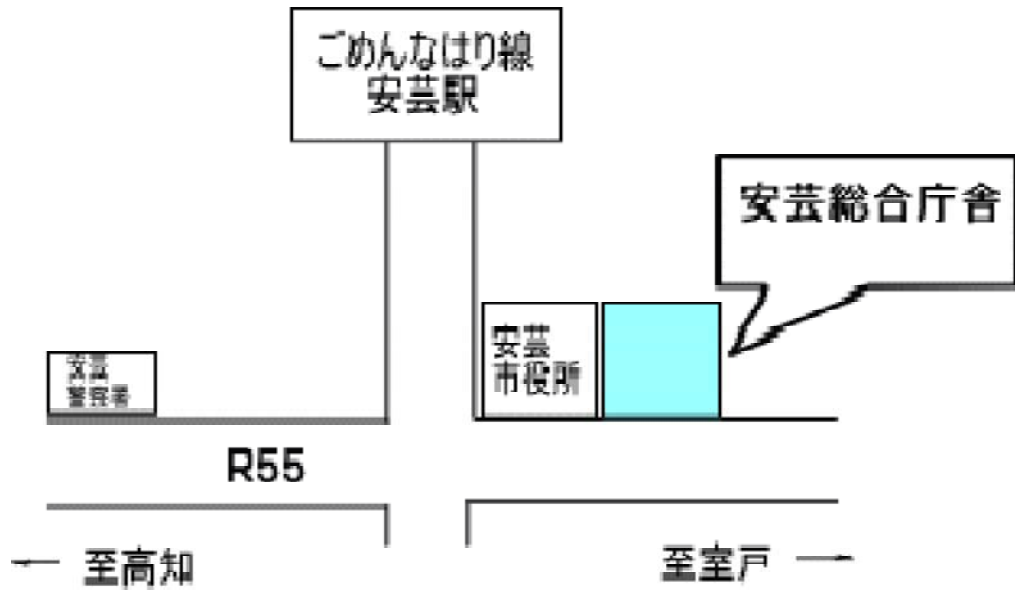
高知県立大方高等学校

幡多郡黒潮町入野 5 5 0 7 Tel 0880-43-1079



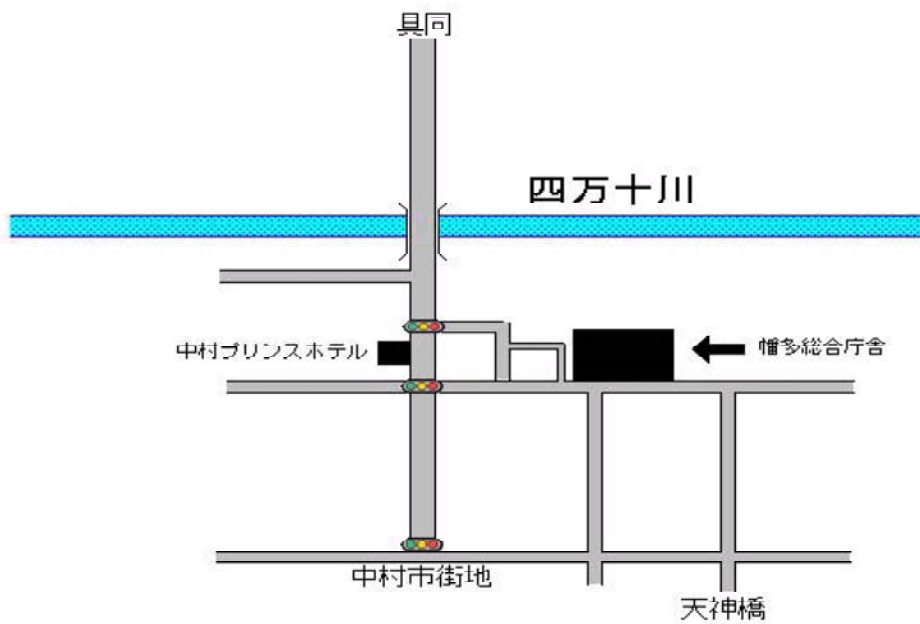
安芸総合庁舎

安芸市矢ノ丸一丁目4-36 Tel 0887-34-3591



幡多総合庁舎

四万十市中村山手通1-9 Tel 0880-35-5981



アスパルこうち（高知市青年センター・教育研究所複合施設）

高知市棧橋通二丁目 1 - 5 0 Tel 088-832-4497

